

障害児通所支援の利用に関するアンケート調査 結果報告書



令和5年12月

尼崎市

目 次

I 調査概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
II 調査結果	
1. 子どもの人数と保護者の就労状況（世帯数を母数とした集計）	2
2. 障害児通所支援を利用している子どもについて（利用者を母数とした集計 ※以降同様）	5
3. 障害児通所支援の利用状況等について	8
4. 障害児通所支援事業所以外の通所施設等の利用について	21
III 資料（調査票）	33

I 調査概要

1. 調査の目的

令和6年度からの尼崎市障害福祉計画の改定などの基礎資料とするほか、今後の障害者施策を進めるにあたっての参考とするため、障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス）を利用されている子どもの保護者を対象に、利用に至った経緯や利用状況、満足度、今後の意向等について、調査を実施した。

2. 調査の設計

《調査対象者》

調査実施時点において、市内事業所における『障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス）を利用している子どもの保護者*』

※本市が支給決定している子どもの保護者

《調査期間》

令和5年9月15日（金）～ 令和5年10月2日（月）

《調査方法》

事業所からの配布、WEBによる回収

3. 回収結果

保護者回答数：616人（サービス利用の子どもの数：704人）

4. 報告書の見方

○回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示している。

○百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。

○1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

○グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合がある。

○サンプル数が少ないものについては、コメントを割愛している。

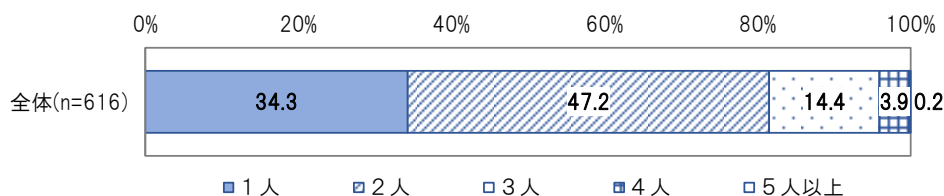
○事業種別等のクロス集計表については、1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。なお、割合が同じ回答が複数ある場合は、3項目以上に網掛けをしている場合がある。

Ⅱ 調査結果

1. 子どもの人数と保護者の就労状況（世帯数を母数とした集計）

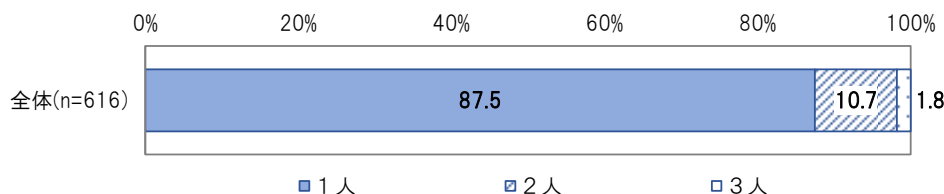
(1) ①子どもの人数

- 子どもの人数は、「2人」が半数近く（47.2%）と最も多く、次いで「1人」（34.3%）、「3人」（14.4%）の順となっている。



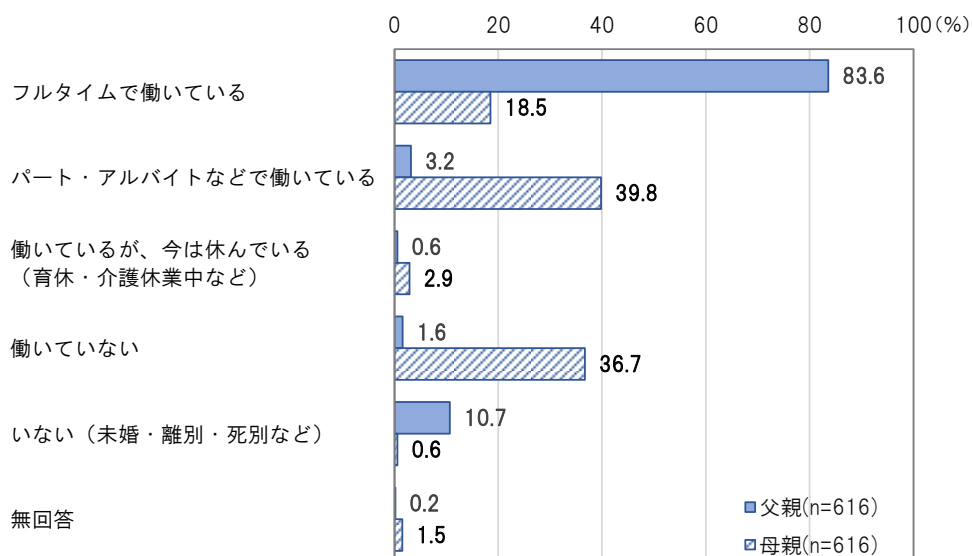
(1) ②障害児通所支援を利用している子どもの人数

- 障害児通所支援を利用している子どもの人数は、「1人」が9割近く（87.5%）を占めている。



(2) 保護者の就労状況

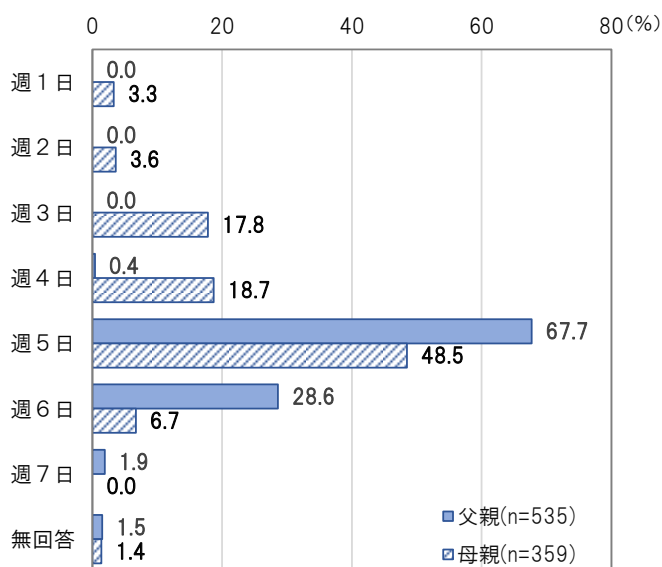
- 父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が8割以上（83.6%）と大半を占めている。
- 母親の就労状況は、「パート・アルバイトなどで働いている」が約4割（39.8%）と最も高く、「フルタイムで働いている」（18.5%）と合わせると、働いている人が6割近くを占めている。また、「働いていない」が3割以上（36.7%）となっている。



(3) 保護者の就労頻度 ※(2)で『働いている』(フルタイム、パート・アルバイト)と回答した方のみ

① 1週あたりの就労日数

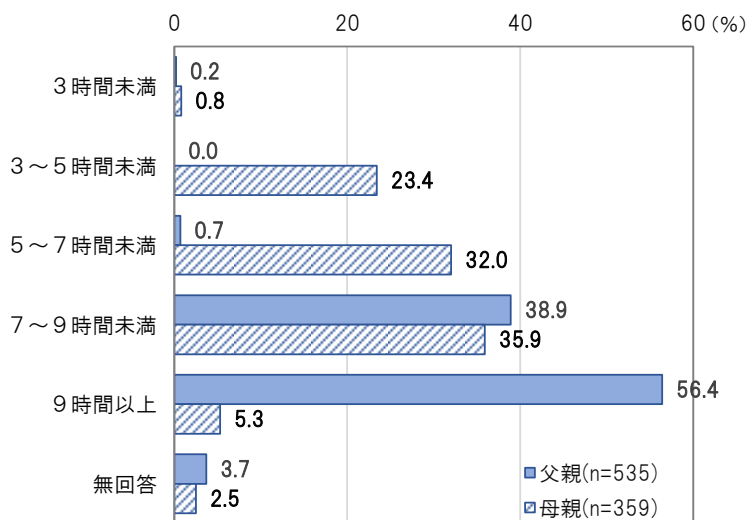
・就労している保護者の1週あたりの就労日数は、父親・母親ともに「週5日」が最も多くなっているものの、次いで、父親では「週6日」となっているのに対し、母親では「週4日」、「週3日」と続いている。



② 1日あたりの就労時間数

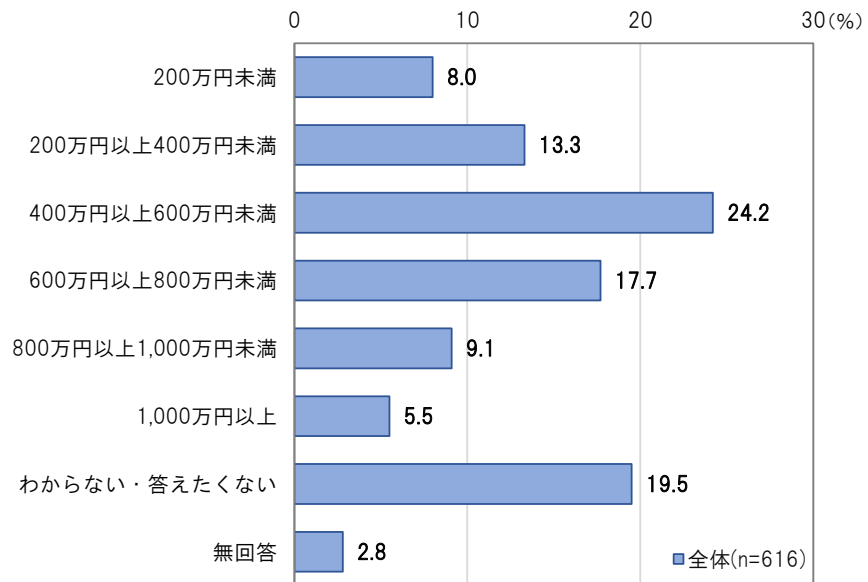
・就労している保護者の1日あたりの就労時間数は、父親では「9時間以上」が半数以上(56.4%)を占めて最も多く、次いで「7~9時間未満」(38.9%)となっており、平均時間は9.3時間となっている。

・母親では、「5~7時間未満」と「7~9時間未満」がともに3割以上と高く、次いで「3~5時間未満」となっており、平均時間は6.0時間となっている。



(4) 世帯収入

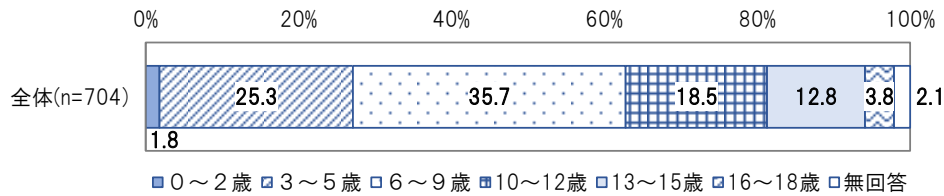
- 世帯収入は、「400万円以上 600万円未満」が2割以上（24.2%）を占めて最も多く、次いで「600万円以上 800万円未満」（17.7%）、「200万円以上 400万円未満」（13.3%）の順となっている。



2. 障害児通所支援を利用している子どもについて（利用者を母数とした集計 ※以降同様）

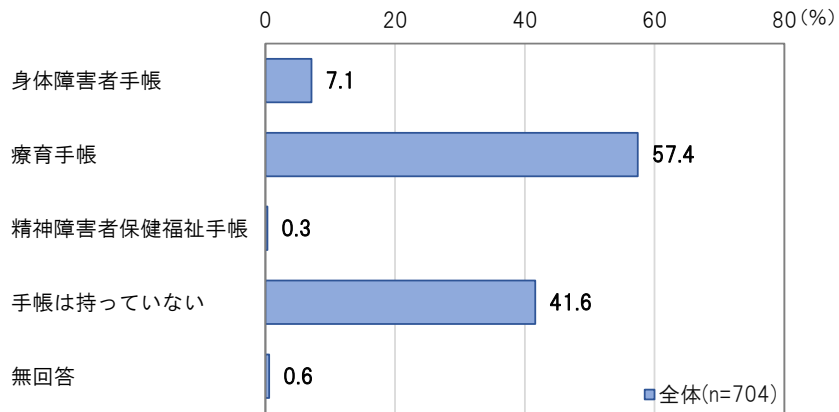
(1) 年齢

- ・障害児通所支援を利用している子どもの年齢は、「6～9歳」が3割以上（35.7%）と最も多く、次いで「3～5歳」（25.3%）、「10～12歳」（18.5%）の順となっている。



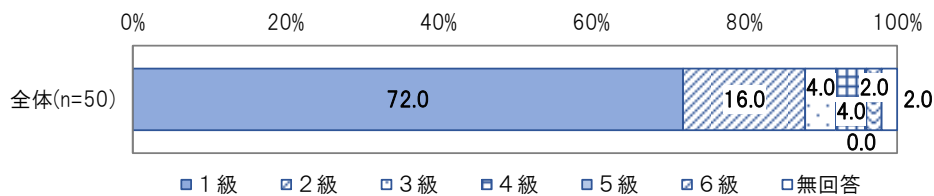
(2) 持っている障害者手帳の種類

- ・持っている障害者手帳の種類は、「療育手帳」が6割近く（57.4%）と最も多くなっている。
- ・また、「手帳は持っていない」が4割以上（41.6%）を占めている。



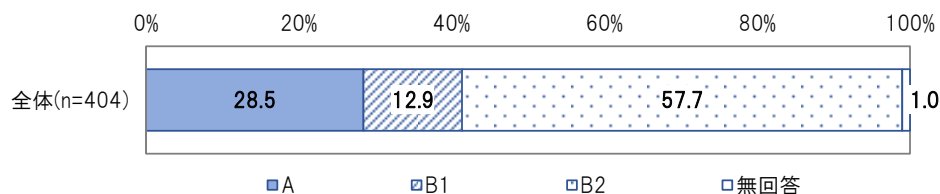
(2) ①身体障害者手帳の等級

- ・身体障害者手帳の等級は、「1級」が7割以上（72.0%）と最も多く、次いで「2級」（16.0%）となっている。



(2) ②療育手帳の等級

- 療育手帳の等級は、「B2」が6割近く（57.7%）と最も多く、次いで「A」（28.5%）、「B1」（12.9%）の順となっている。

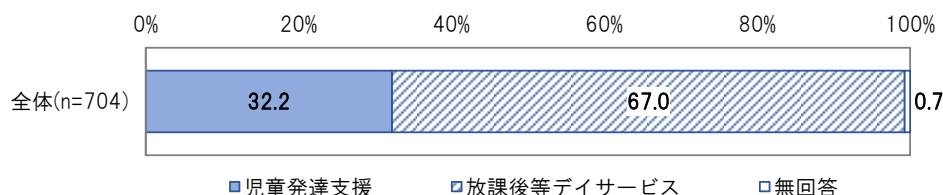


(2) ③精神障害者保健福祉手帳の等級

- 精神障害者保健福祉手帳の等級は、所持者2人ともに「2級」との回答であった。

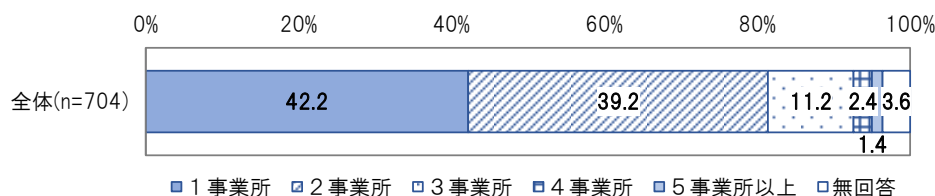
(3) 利用している障害児通所支援

- 利用している障害児通所支援は、「放課後等デイサービス」が7割近く（67.0%）を占め、「児童発達支援」は3割程度（32.2%）となっている。



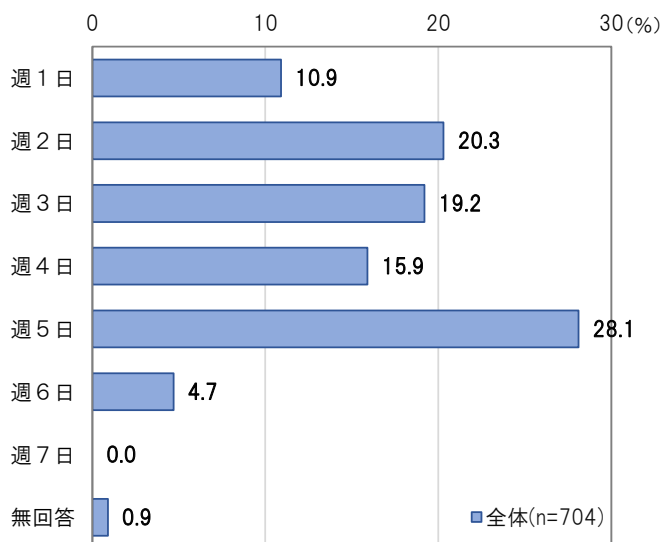
(4) 利用事業所数

- 利用している事業所数は、「1事業所」が4割以上（42.2%）と最も多くなっているものの、次いで「2事業所」（39.2%）、「3事業所」（11.2%）の順となっており、複数事業所を利用している人が半数以上を占めている。
- 平均利用事業所数は、1.8事業所となっている。

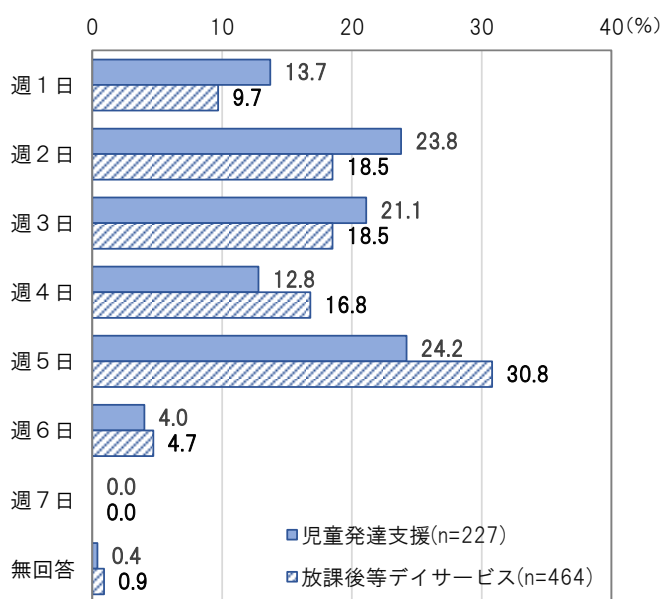


(5) 利用頻度

- 利用頻度は、「週5日」が3割近く（28.1%）と最も多く、次いで「週2日」（20.3%）、「週3日」（19.2%）、「週4日」（15.9%）の順となっている。



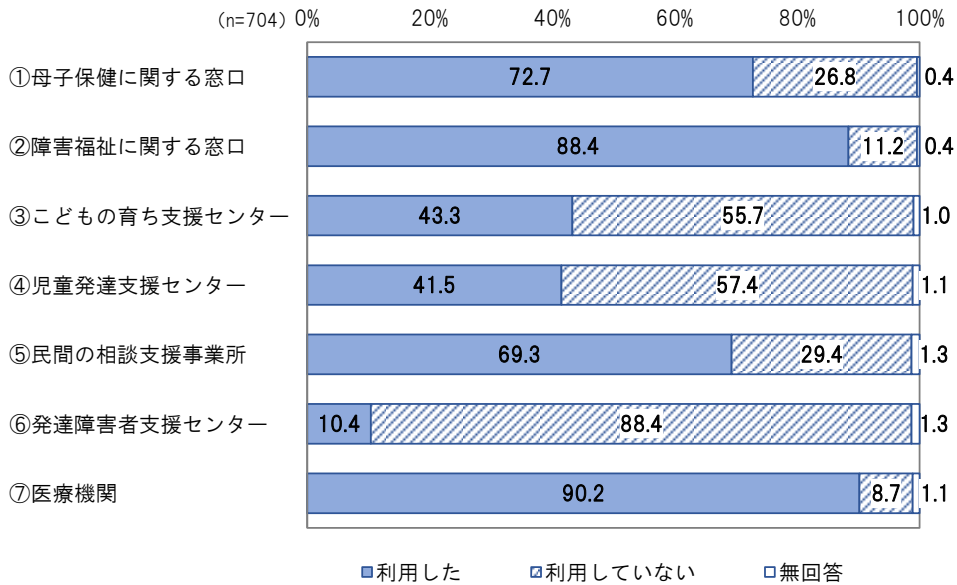
- 事業種別にみると、児童発達支援では「週2日」、「週3日」、「週5日」がともに2割程度となっているのに対し、放課後等デイサービスでは「週5日」が約3割（30.8%）を占めて最も多くなっている。
- 平均利用日数は、児童発達支援が3.2日、放課後等デイサービスが3.6日となっており、児童発達支援に比べて放課後等デイサービスで利用頻度が多くなっている。



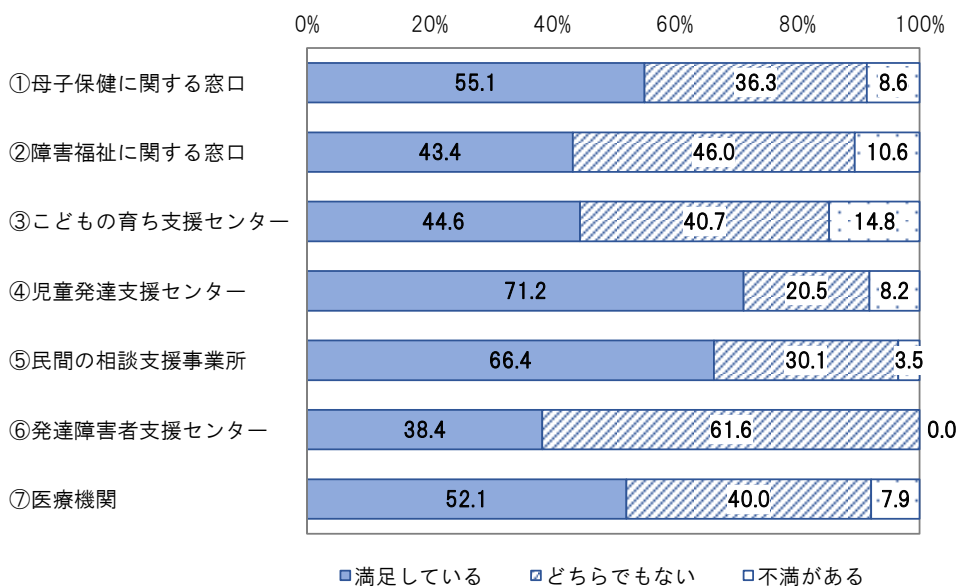
3. 障害児通所支援の利用状況等について

(1) 障害児通所支援の利用にあたって、主に相談した窓口（機関）と満足度

- 障害児通所支援サービスの利用にあたって主に相談した窓口（機関）では、“⑦医療機関”で約9割（90.2%）を占めて最も多く、次いで“②障害福祉に関する窓口”（88.4%）、“①母子保健に関する窓口”（72.7%）、“⑤民間の相談支援事業所”（69.3%）の順となっている。



- それぞれの窓口（機関）を利用した人の満足度では、「満足している」の割合をみると、“④児童発達支援センター”で7割以上（71.2%）を占めて最も多く、次いで“⑤民間の相談支援事業所”（66.4%）、“①母子保健に関する窓口”（55.1%）、“⑦医療機関”（52.1%）の順となっている。



(1-1) 障害児通所支援の利用にあたって相談した窓口（機関）に不満がある主な理由

※(1)でそれぞれ「不満がある」と回答した方のみ（⑥発達障害者支援センターは不満の回答者なし）

（寄せられたご意見の趣旨等が変わらないよう、基本的にアンケートに記入された内容のまま掲載しています。）

① 母子保健に関する窓口

- ・たらい回しにされた。
- ・発達障害ではと相談したのに「問題はない」と言われた。「様子見で」と言われた。
- ・担当の方があまり療育の知識がない。相談所としての機能を果たしていない人員がいる。
- ・健診では聞き取りが主で、アドバイスもないし情報提供されたこともない。
- ・対応が遅い。
- ・具体的な提案がない。
- ・情報量が少なく、教えてくれたが既に知っていて詳しい新しい情報がなかった。 など

② 障害福祉に関する窓口

- ・手続きに時間がかかる。療育手帳、受給者証の発行に時間がかかる。
- ・調査訪問までの日程が遠い。
- ・具体的な提案がない。聞かれたことしか返答してくれない。
- ・情報の共有がされておらず、何度も同じ話をした。
- ・障害がある時点で、窓口に行くのが困難な事を理解されていないと感じる。
- ・窓口からの情報発信がない。
- ・親身に対応してもらえなかった。詳しい説明がほしかった。寄り添いが少ない。 など

③ こどもの育ち支援センター（いくしあ）

- ・具体的な提案がない。
- ・対応が遅かった。相談支援員が足りていない。
- ・継続利用ができない。継続的に相談する場所になるべきでは。
- ・遠くて、予約がとりにくい。行きづらい。場所が不便。
- ・障がい者の家庭の深刻さを理解する気がない。
- ・保護者への寄り添いがない
- ・発達検査や感覚統合室を利用した療育を受けられるようにしてほしい。 など

④ 児童発達支援センター

- ・定期的な予約が取りにくい。
- ・先生の人数が足りていない。PT.OT.STの先生の人数が少ない。
- ・人員に余裕がない上に個人差が大きい。常に人手不足で満足なりハビリは受けれない。
- ・施設が古くて、とても障害者施設とは思えない。
- ・年齢が高くなると優先順位が下がって回数が通えない。
- ・グレーな子ども達をみってくれる場所がない。
- ・大人になっても専門的に見てくれる所の選択肢がない。 など

⑤ 民間の相談支援事業所

- ・一番大変な事業所探しの際に相談支援に空きがなく協力を得られなかった。
- ・情報量の不足。
- ・不満があってもなかなか言えない。
- ・対応が悪かった
- ・民間事業所が足りず支援に間に合っていない。当たり外れの差が大きい。
- ・たらい回しにされた。

など

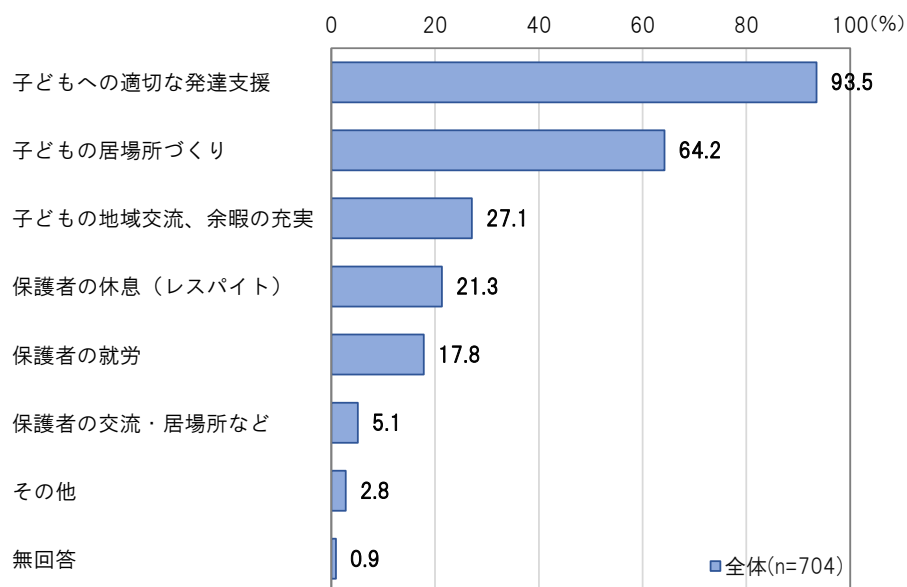
⑦ 医療機関

- ・発達専門の医師が少ない。
- ・発達検査の結果を説明されただけで、アドバイスがなかった。
- ・忙しいのか話に寄り添ってもらってもらえない。適切な対応をしてくれない。
- ・子どもの発達のことをよく分かっていない。先生によって言うことが違う。
- ・予約をとろうとしても何ヶ月も先になる。自宅近くに病院がない。
- ・子どもを連れていかなくていい内容(薬の効き目の確認など)の診察ならオンラインで診察してもらいたい。
- ・具体的なアドバイスがない。医者知識不足を感じる。
- ・親への批判的な態度がみられる。

など

(2) 障害児通所支援を利用している主な理由

- ・障害児通所支援を利用している主な理由は、「子どもへの適切な発達支援」が9割以上（93.5%）を占めて最も多く、次いで「子どもの居場所づくり」（64.2%）、「子どもの地域交流、余暇の充実」（27.1%）の順となっている。



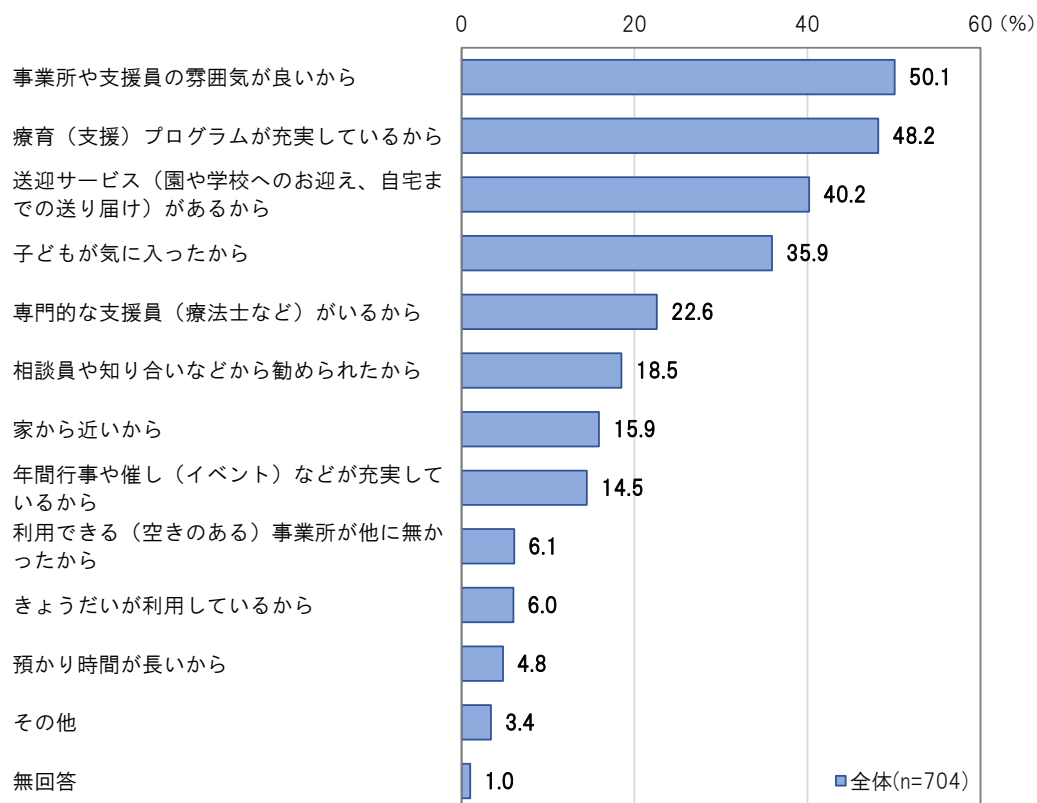
- ・事業種別にみると、児童発達支援では「子どもへの適切な発達支援」や「保護者の休息（レスパイト）」、放課後等デイサービスでは「子どもの居場所づくり」や「子どもの地域交流、余暇の充実」、「保護者の就労」が、それぞれ多くなっている。
- ・また、年代別に見ると、年齢が下がるほど「子どもへの適切な発達支援」が高く、年齢が上がるほど「子どもの居場所づくり」が高くなる傾向がみられる。

		回答者（人）	子どもへの適切な発達支援	子どもの居場所づくり	子どもの地域交流、余暇の充実	保護者の休息（レスパイト）	保護者の就労	保護者の交流・居場所など	その他	無回答
事業種別	児童発達支援	227	98.7	56.4	16.7	22.9	8.4	11	1.8	0.9
	放課後等デイサービス	464	90.9	68.1	31.9	20.9	22.4	2.4	3.4	0.6
	6～9歳	222	93.7	60.8	31.1	24.3	24.8	1.8	2.7	0.5
	10～12歳	127	92.9	68.5	29.9	18.1	16.5	3.1	3.1	0.8
	13歳以上	115	83.5	81.7	35.7	17.4	24.3	2.6	5.2	0.9

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 現在利用している障害児通所支援事業所を選んだ主な理由

- 現在利用している障害児通所支援事業所を選んだ主な理由は、「事業所や支援員の雰囲気が良いから」が約半数（50.1%）を占めて最も多く、次いで「療育（支援）プログラムが充実しているから」（48.2%）、「送迎サービス（園や学校へのお迎え、自宅までの送り届け）があるから」（40.2%）、「子どもが気に入ったから」（35.9%）の順となっている。



- ・事業種別にみると、児童発達支援では「事業所や支援員の雰囲気が良いから」、放課後等デイサービスでは「療育（支援）プログラムが充実しているから」が最も多くなっている。
- ・その他、児童発達支援では「専門的な支援員（療法士など）がいるから」、放課後等デイサービスでは「子どもが気に入ったから」や「年間行事や催し（イベント）などが充実しているから」が、それぞれ多くなっている。
- ・また、年代別に見ると、年齢が上がるほど「子どもが気に入ったから」や「年間行事や催し（イベント）などが充実しているから」が高くなる傾向がみられる。

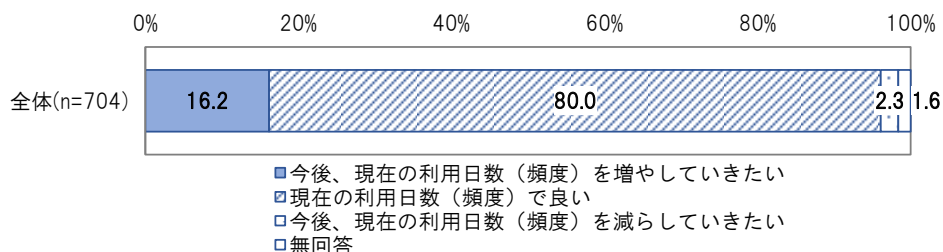
		回答者（人）	事業所や支援員の雰囲気が良いから	療育（支援）プログラムが充実しているから	送迎サービス（園や学校へのお迎え、自宅までの送り届け）があるから	子どもが気に入ったから	専門的な支援員（療法士など）がいるから	相談員や知り合いなどから勧められたから	家から近いから
事業種別	児童発達支援	227	55.1	46.3	41.0	24.7	30.8	18.1	19.4
	放課後等デイサービス	464	47.4	48.9	39.9	41.4	17.9	19.0	14.4
	6～9歳	222	44.6	48.6	44.1	39.6	17.6	22.5	14.0
	10～12歳	127	40.2	52.0	34.6	41.7	20.5	12.6	17.3
	13歳以上	115	60.9	46.1	37.4	44.3	15.7	19.1	12.2

		回答者（人）	年間行事や催し（イベント）などが充実しているから	利用できる（空きのある）事業所が他に無かったから	きょうだいを利用しているから	預かり時間が長いから	その他	無回答
事業種別	児童発達支援	227	6.2	7.9	7.9	4.0	2.2	0.9
	放課後等デイサービス	464	18.8	5.4	5.2	5.4	3.9	0.9
	6～9歳	222	16.7	6.3	5.0	6.3	4.1	0.5
	10～12歳	127	19.7	6.3	8.7	3.9	3.1	0.8
	13歳以上	115	21.7	2.6	1.7	5.2	4.3	1.7

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 現在利用している障害児通所支援事業所の利用日数（頻度）に対する考え

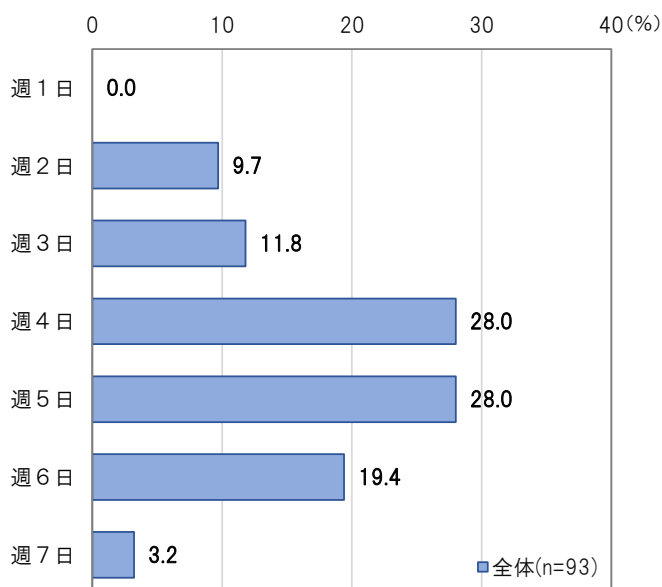
- 現在利用している障害児通所支援事業所の利用日数（頻度）に対する考えでは、「現在の利用日数（頻度）が良い」が8割（80.0%）を占めて最も多く、「今後、現在の利用日数（頻度）を増やしていきたい」は2割未満（16.2%）となっている。



(5) 希望する利用日数 ※(4)で「今後、現在の利用日数（頻度）を増やしていきたい」と回答した方のみ

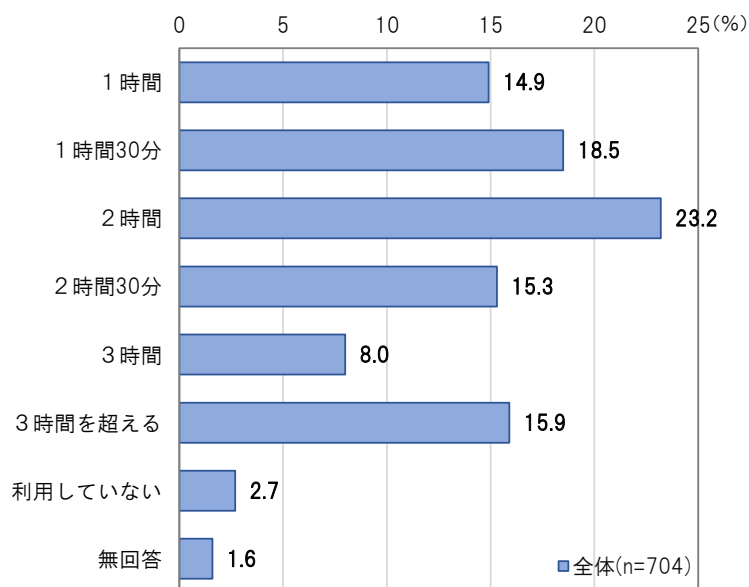
(無回答と現在の利用状況と比較して同じ回答の方・少ない回答の方・現在の利用頻度が無回答の方を除いて集計)

- 希望する利用日数は、「週4日」と「週5日」がともに3割近く（28.0%）と最も多く、次いで「週6日」（19.4%）の順となっている。
- 平均利用希望日数は、4.5日となっている。

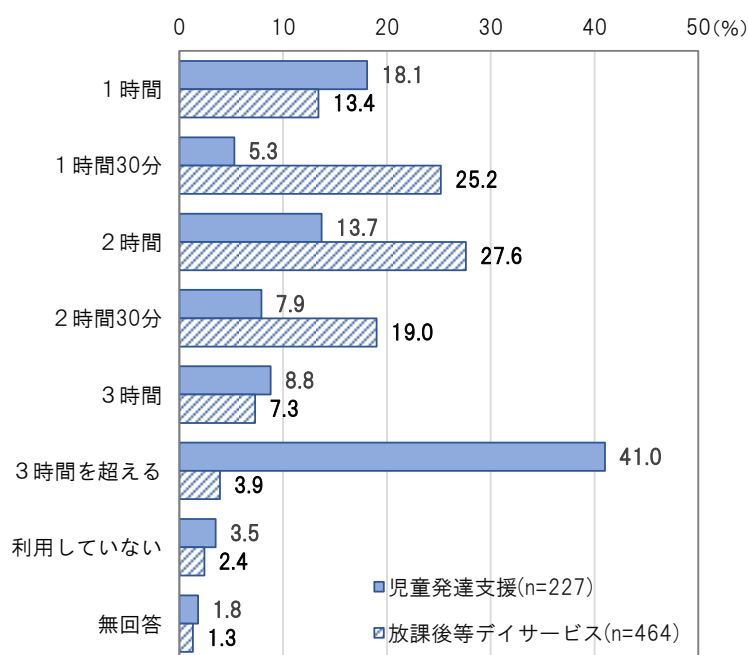


(6-1) 平日に障害児通所支援事業所で過ごす時間

- 平日に障害児通所支援事業所で過ごす時間では、「2時間」が2割以上（23.2%）を占めて最も多く、次いで「1時間30分」（18.5%）、「3時間を超える」（15.9%）、「2時間30分」（15.3%）、「1時間」（14.9%）の順となっている。

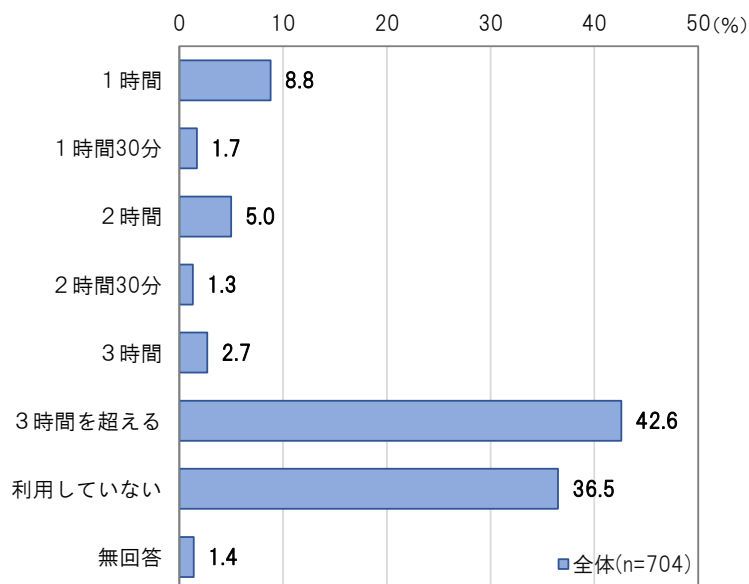


- 事業種別にみると、放課後等デイサービスでは「3時間を超える」が4割以上（41.0%）を占めて最も多くなっており、児童発達支援に比べて放課後等デイサービスで平日の利用時間が長くなっている。

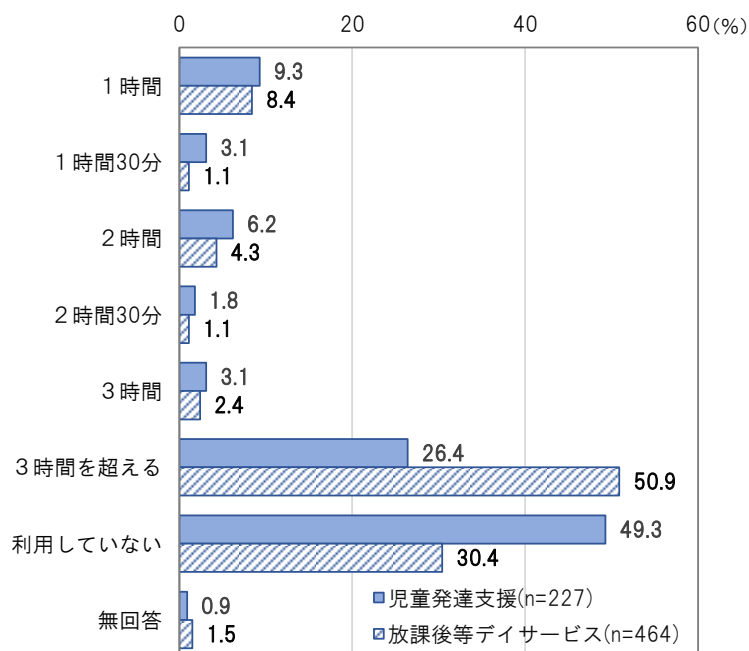


(6-2) 休日に障害児通所支援事業所で過ごす時間

- 休日に障害児通所支援事業所で過ごす時間では、「3時間を超える」が4割以上（42.6%）を占めて最も多くなっている。次いで「利用していない」が3割以上（36.5%）を占めており、利用している人ではほとんどの人が3時間を超える利用となっている。
- (6-1)の平日の状況と比較すると、休日の利用時間が長くなっている。

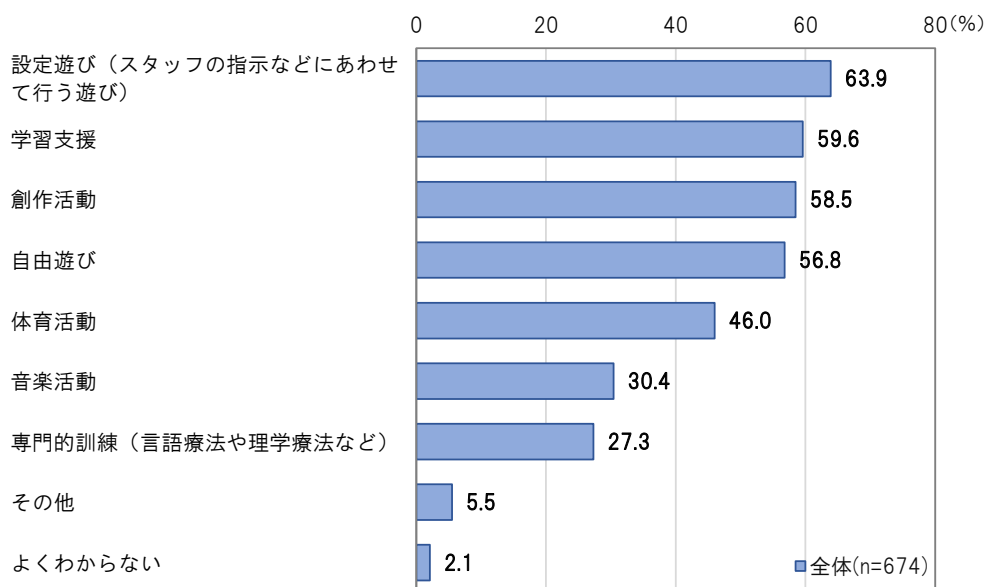


- 事業種別にみると、放課後等デイサービスでは「3時間を超える」が約半数（50.9%）を占めて最も多くなっており、児童発達支援に比べて放課後等デイサービスで休日の利用時間が長くなっている。
- また、「利用していない」の割合をみると、休日の児童発達支援の利用率は約半数、放課後等デイサービスが約3割となっている。

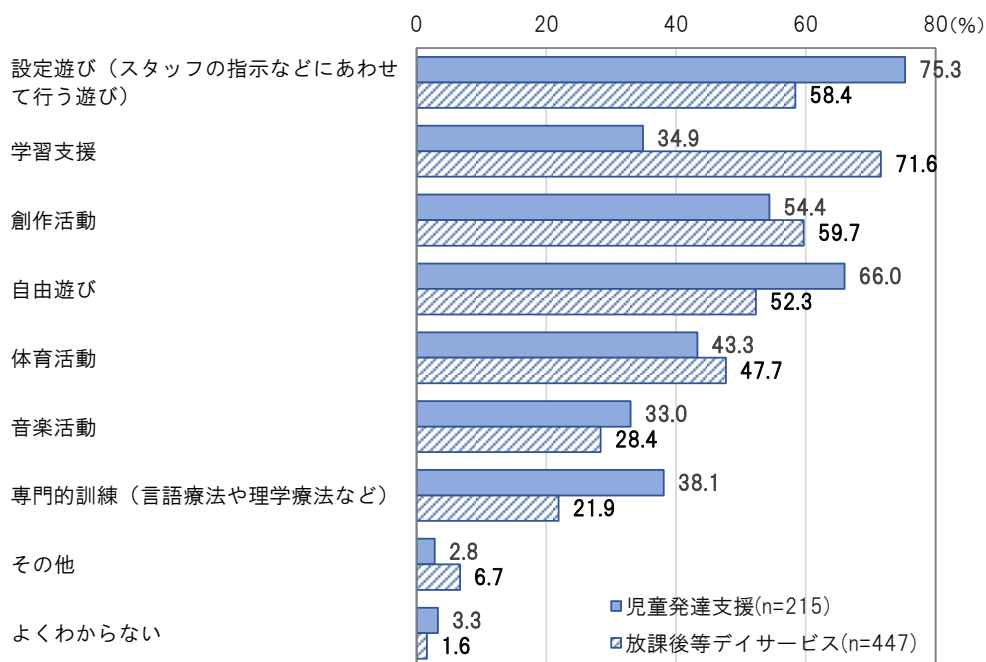


(7-1) 平日に利用している障害児通所支援事業所の主な支援内容

- 平日に利用している障害児通所支援事業所の主な支援内容では、「設定遊び（スタッフの指示などにあわせて行う遊び）」が6割以上（63.9%）を占めて最も多く、次いで「学習支援」（59.6%）、「創作活動」（58.5%）、「自由遊び」（56.8%）の順となっている。

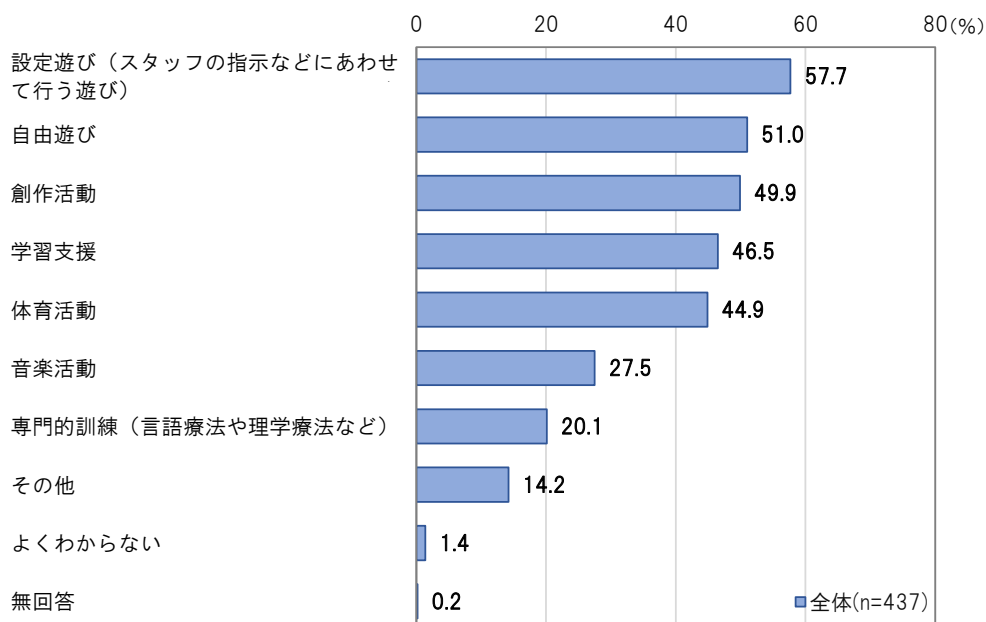


- 事業種別にみると、児童発達支援では「設定遊び（スタッフの指示などにあわせて行う遊び）」、放課後等デイサービスでは「学習支援」が最も多くなっている。
- その他、児童発達支援では「自由遊び」や「専門的訓練（言語療法や理学療法など）」が放課後等デイサービスに比べて多くなっている。

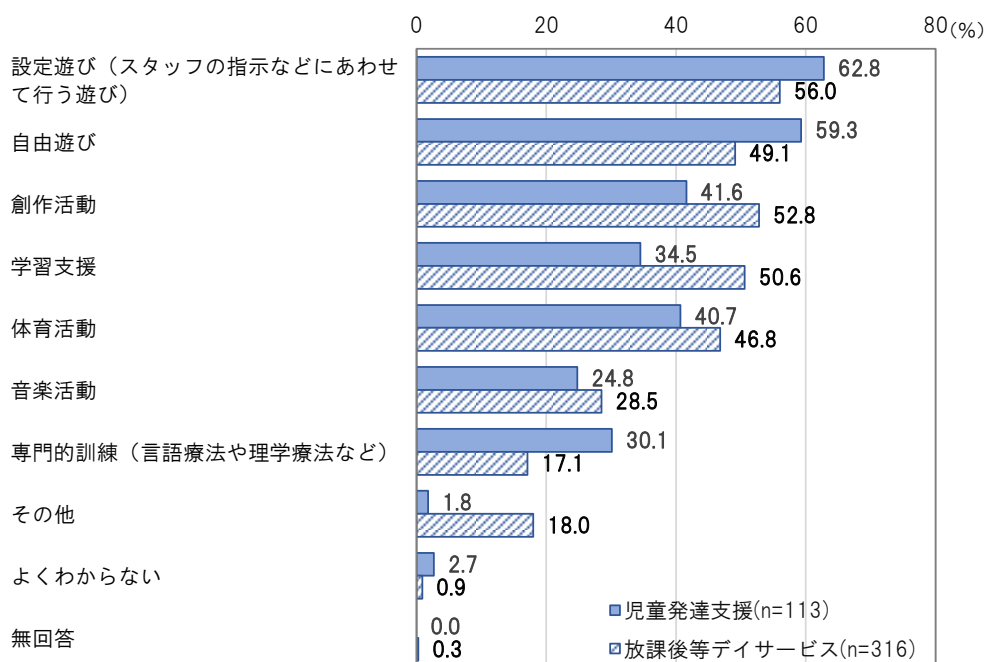


(7-2) 休日に利用している障害児通所支援事業所の主な支援内容

- ・休日に利用している障害児通所支援事業所の主な支援内容では、「設定遊び（スタッフの指示などにあわせて行う遊び）」が6割近く（57.7%）を占めて最も多く、次いで「自由遊び」（51.0%）、「創作活動」（49.9%）、「学習支援」（46.5%）の順となっている。

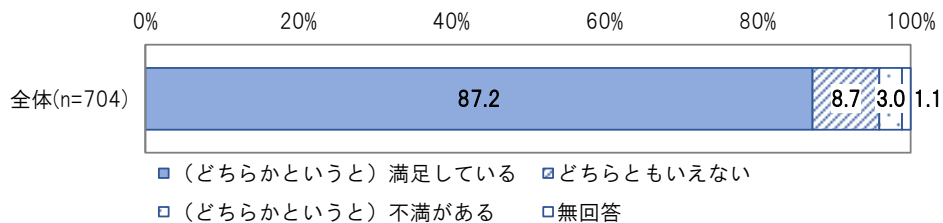


- ・事業種別に見ると、ともに「設定遊び（スタッフの指示などにあわせて行う遊び）」が最も多くなっている。
- ・その他、児童発達支援では「自由遊び」や「専門的訓練（言語療法や理学療法など）」、放課後等デイサービスでは「創作活動」や「学習支援」が他に比べて多くなっている。



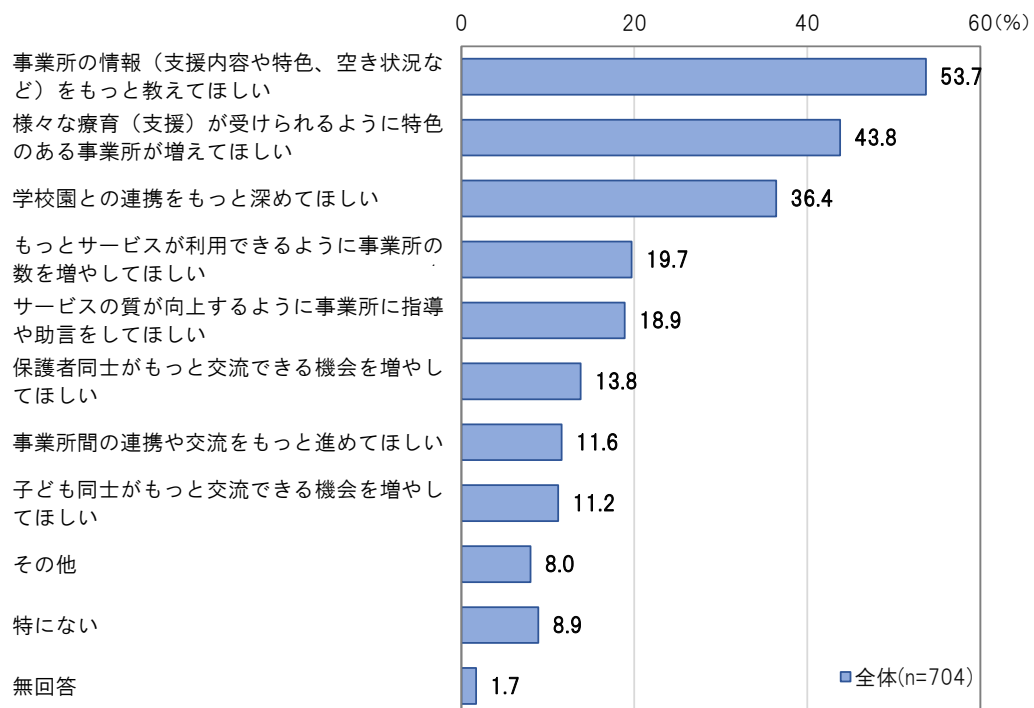
(8) 現在利用している障害児通所支援事業所の支援内容の満足度

- ・現在利用している障害児通所支援事業所の支援内容の満足度は、「(どちらかというと) 満足している」が9割近く(87.2%)を占めている。

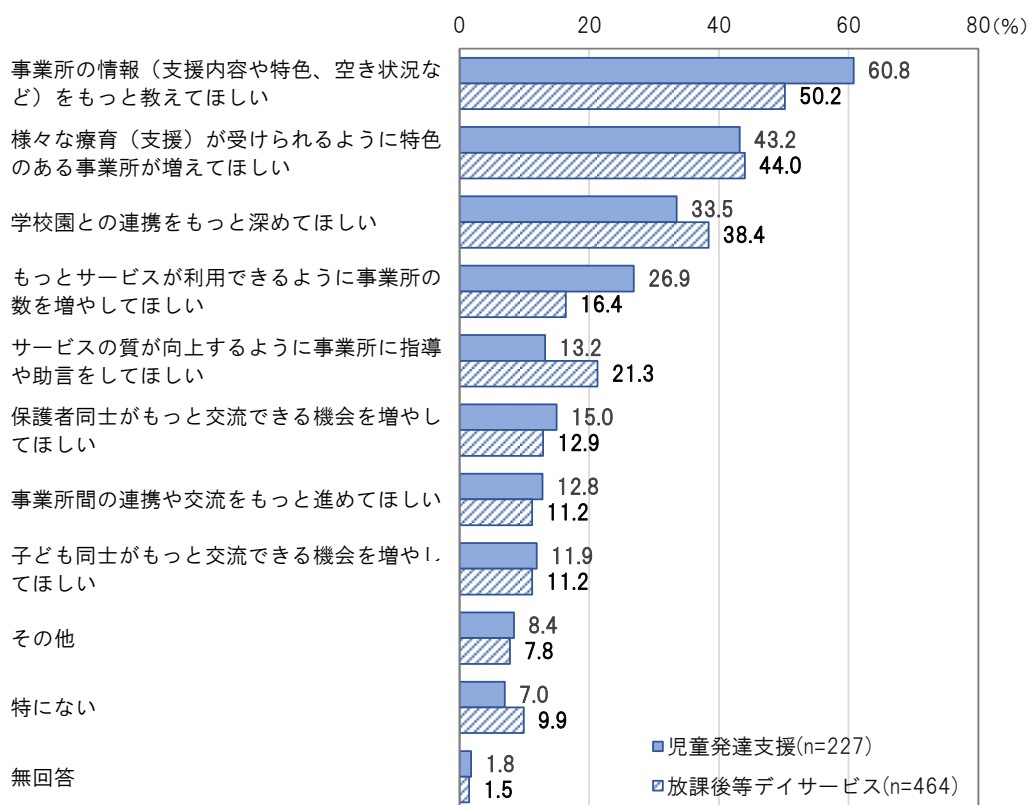


(9) 尼崎市で障害児通所支援を利用するにあたって求める(期待する)こと

- ・尼崎市で障害児通所支援を利用するにあたって求める(期待する)ことでは、「事業所の情報(支援内容や特色、空き状況など)をもっと教えてほしい」が半数以上(53.7%)を占めて最も多く、次いで「様々な療育(支援)が受けられるように特色のある事業所が増えてほしい」(43.8%)、「学校園との連携をもっと深めてほしい」(36.4%)の順となっている。



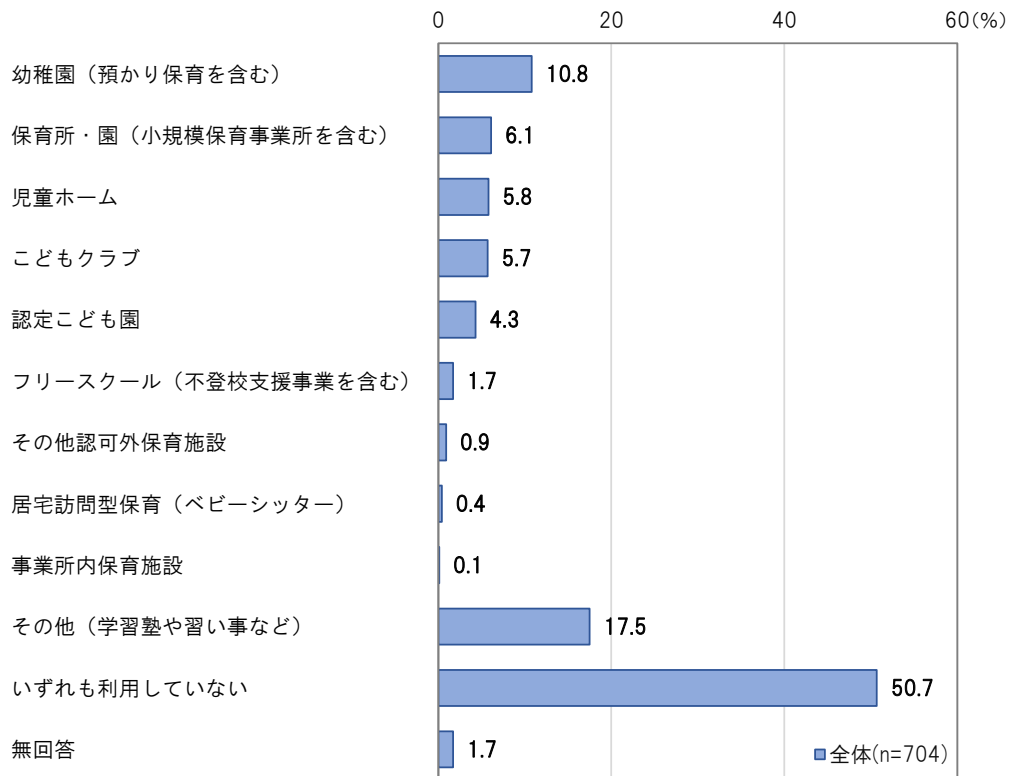
- 事業種別にみると、児童発達支援では「事業所の情報（支援内容や特色、空き状況など）をもっと教えてほしい」や「もっとサービスが利用できるように事業所の数を増やしてほしい」、放課後等デイサービスでは「学校園との連携をもっと深めてほしい」や「サービスの質が向上するように事業所に指導や助言をしてほしい」が他に比べて多くなっている。



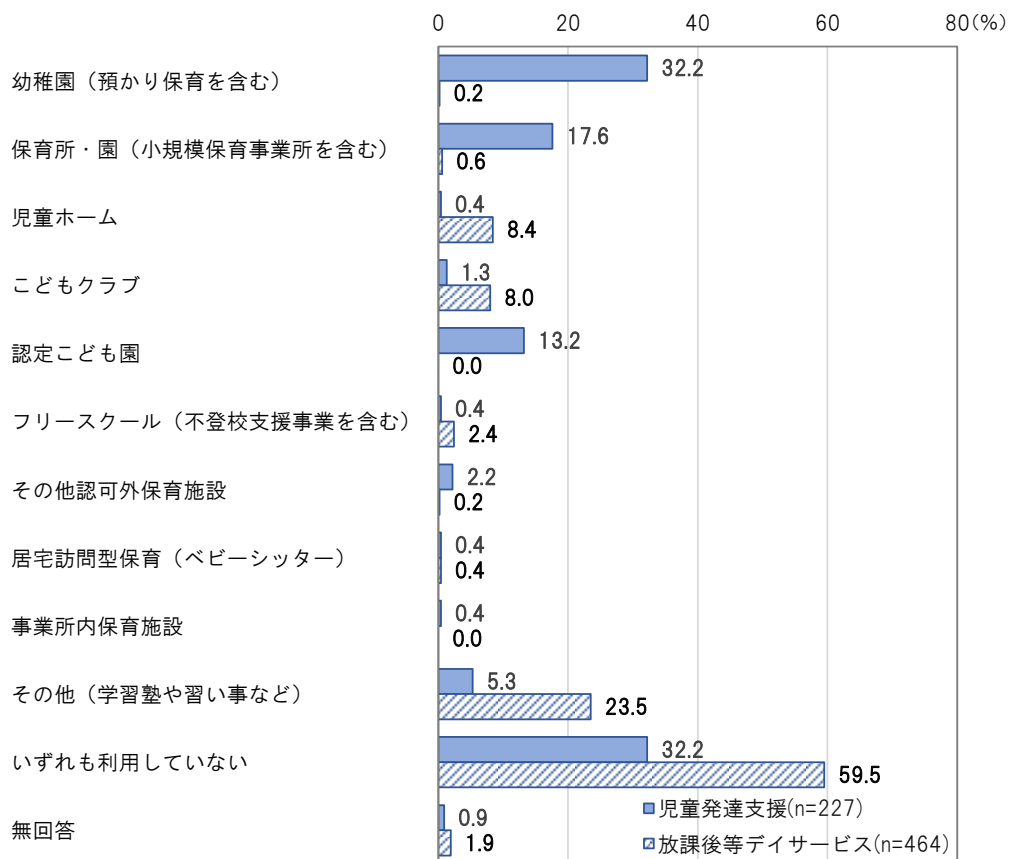
4. 障害児通所支援事業所以外の通所施設等の利用について

(1) 障害児通所支援事業所以外の通所施設等の利用状況

- 障害児通所支援事業所以外の通所施設等の利用状況では、「いずれも利用していない」が約半数（50.7%）を占めて最も多くなっている。
- 他の施設を利用している人では、「その他（学習塾や習い事など）」が2割近く（17.5%）を占めて高く、次いで「幼稚園（預かり保育を含む）」（10.8%）、「保育所・園（小規模保育事業所を含む）」（6.1%）の順となっている。

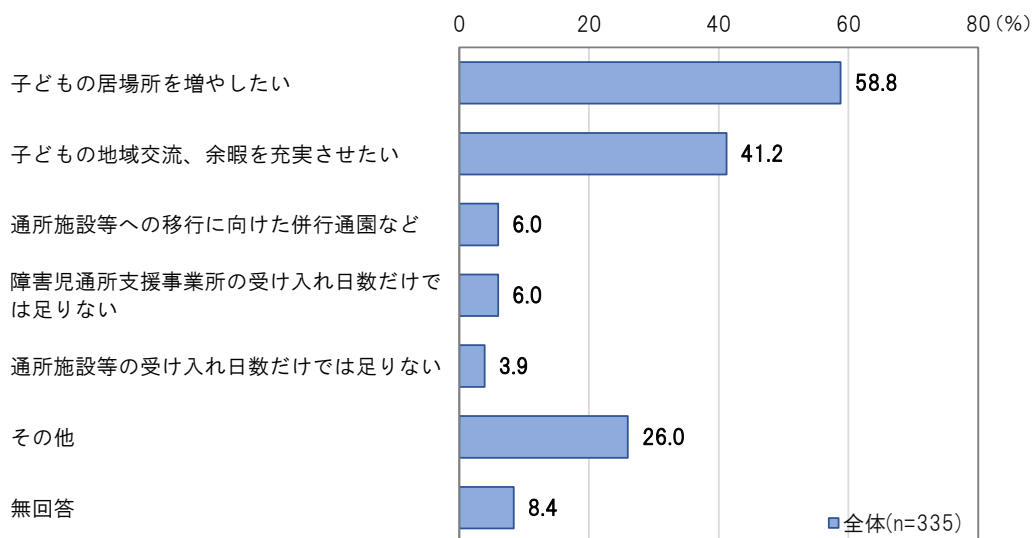


- 事業種別にみると、児童発達支援では「幼稚園（預かり保育を含む）」が最も多くなっている。
- その他、放課後等デイサービスでは「いずれも利用していない」が児童発達支援に比べて多くなっている。

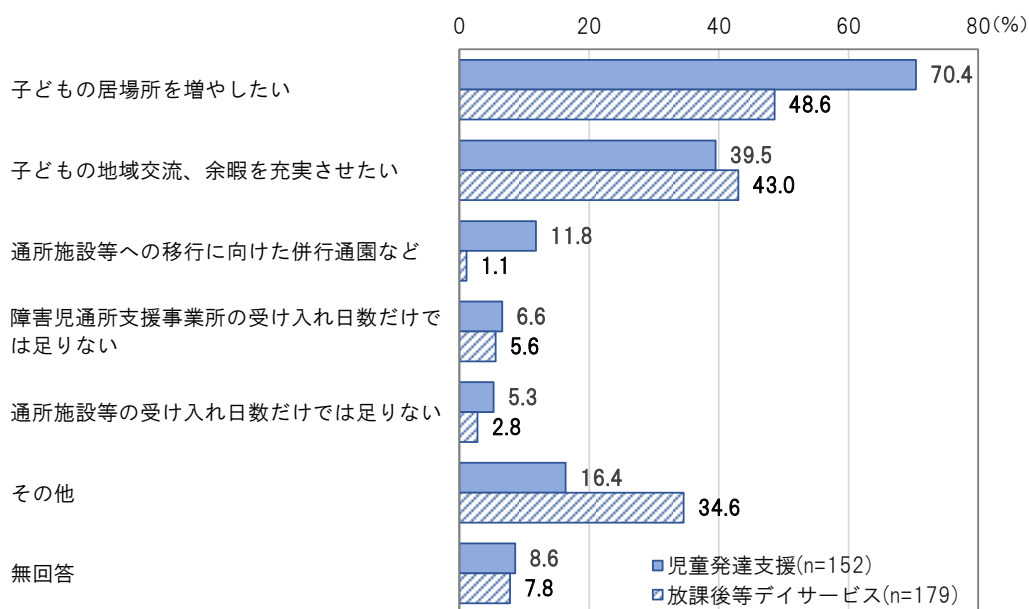


(2) 障害児通所支援事業所とそれ以外の通所施設等の両方を利用している主な理由

- 障害児通所支援事業所とそれ以外の通所施設等の両方を利用している主な理由は、「子どもの居場所を増やしたい」が6割近く（58.8%）を占めて最も多く、次いで「子どもの地域交流、余暇を充実させたい」（41.2%）となっている。

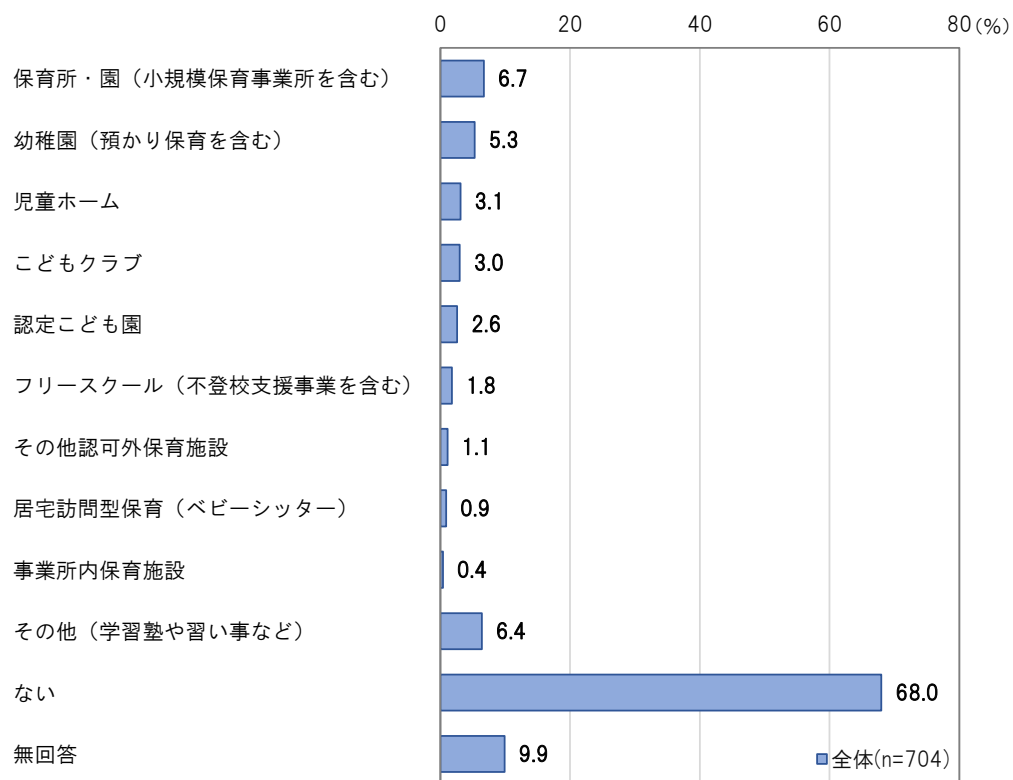


- 事業種別にみると、児童発達支援では「子どもの居場所を増やしたい」や「通所施設等への移行に向けた併行通園など」が放課後等デイサービスに比べて多くなっている。

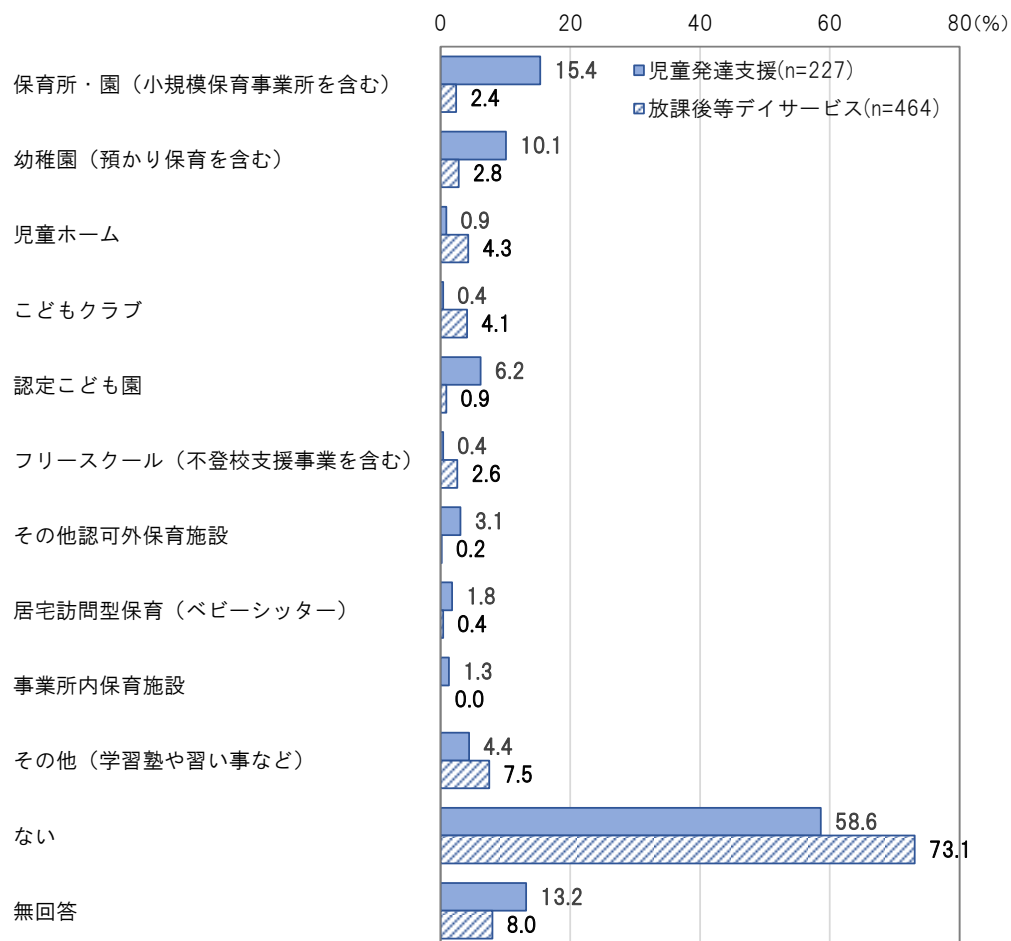


(3) 障害児通所支援事業所以外の通所施設等のうち、利用しようとしたが利用できていない施設等

・通所施設等のうち、利用しようとしたが利用できていない施設等では、「ない」が7割近く(68.0%)を占めて最も多くなっている。



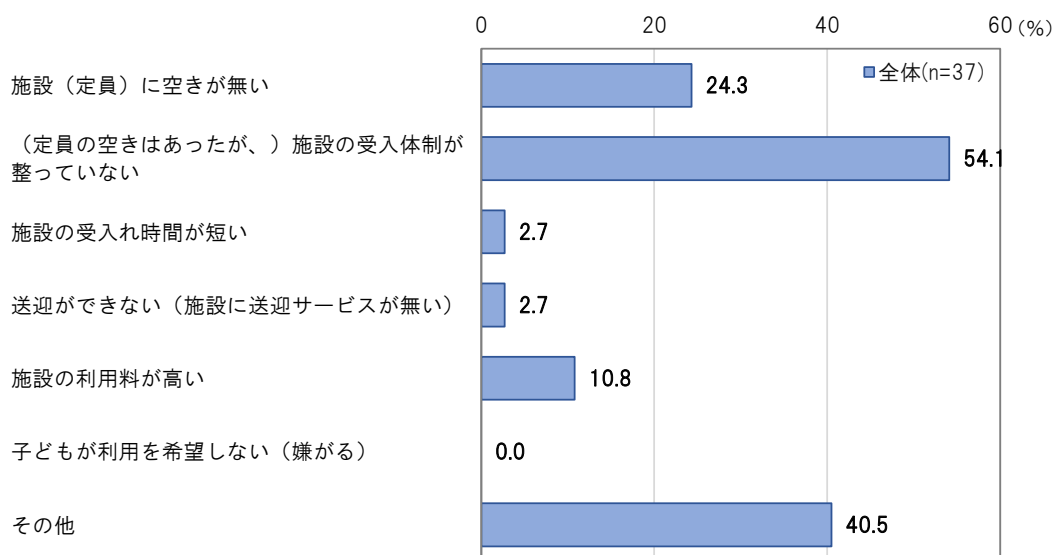
- 事業種別にみると、児童発達支援では「保育所・園（小規模保育事業所を含む）」や「幼稚園（預かり保育を含む）」が1割を超えて多くなっている。
- その他、放課後等デイサービスでは「ない」が児童発達支援に比べて多くなっている。



(4) 障害児通所支援事業所以外の通所施設等のうち、利用しようとしたが利用できていない理由

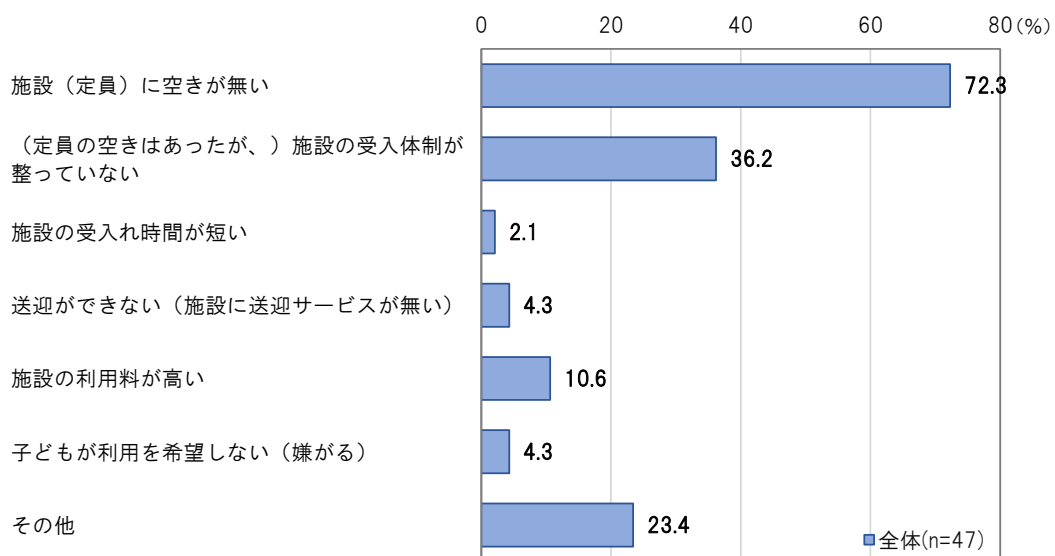
① 幼稚園（預かり保育を含む）

・幼稚園（預かり保育を含む）を利用できていない理由は、「（定員の空きはあったが、）施設の入体制が整っていない」が半数以上（54.1%）を占めて最も多く、次いで「施設（定員）に空きが無い」（24.3%）、「施設の利用料が高い」（10.8%）の順となっている。



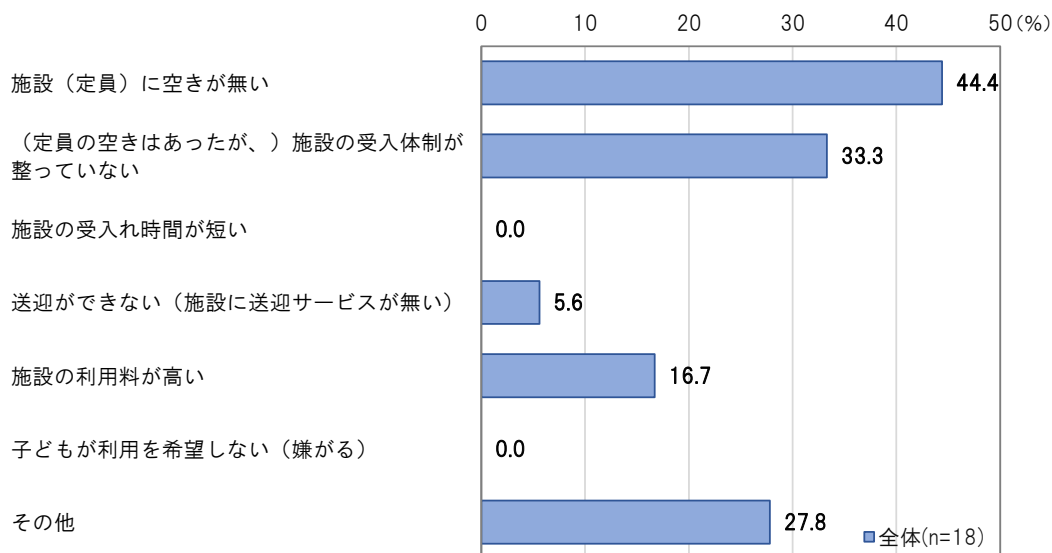
② 保育所・園（小規模保育事業所を含む）

・保育所・園（小規模保育事業所を含む）を利用できていない理由は、「施設（定員）に空きが無い」が7割以上（72.3%）を占めて最も多く、次いで「（定員の空きはあったが、）施設の入体制が整っていない」（36.2%）となっている。



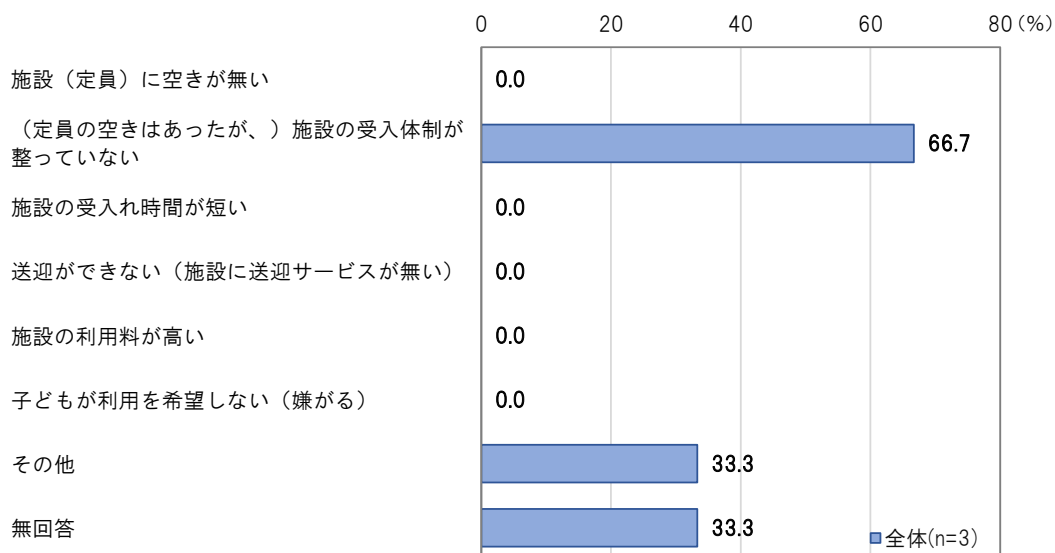
③ 認定こども園

- 認定こども園を利用できていない理由は、「施設（定員）に空きが無い」が4割以上（44.4%）を占めて最も多く、次いで「（定員の空きはあったが、）施設の受入体制が整っていない」（33.3%）、「施設の利用料が高い」（16.7%）の順となっている。



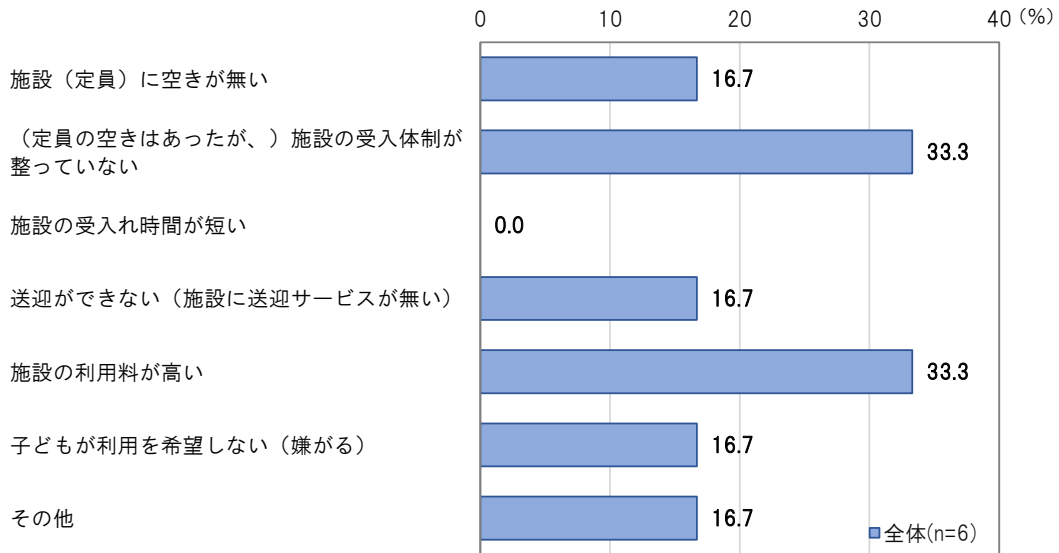
④ 事業所内保育施設

- 事業所内保育施設を利用できていない3人の理由は、そのうち2人が「（定員の空きはあったが、）施設の受入体制が整っていない」となっている。



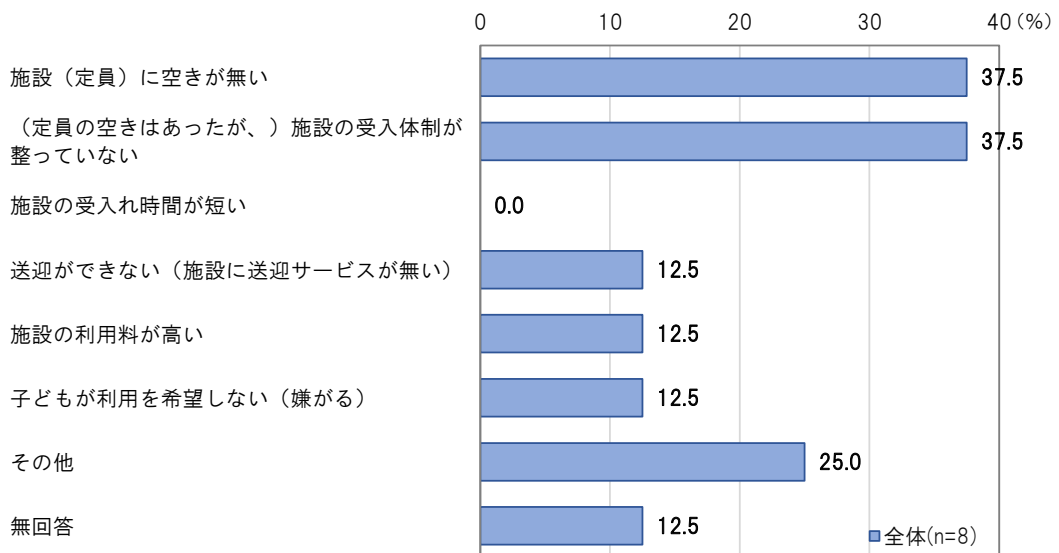
⑤ 居宅訪問型保育（ベビーシッター）

- ・居宅訪問型保育（ベビーシッター）を利用できていない6人の理由は、そのうち2人が「（定員の空きはあったが、）施設の受入体制が整っていない」と「施設の利用料が高い」との回答となっている。



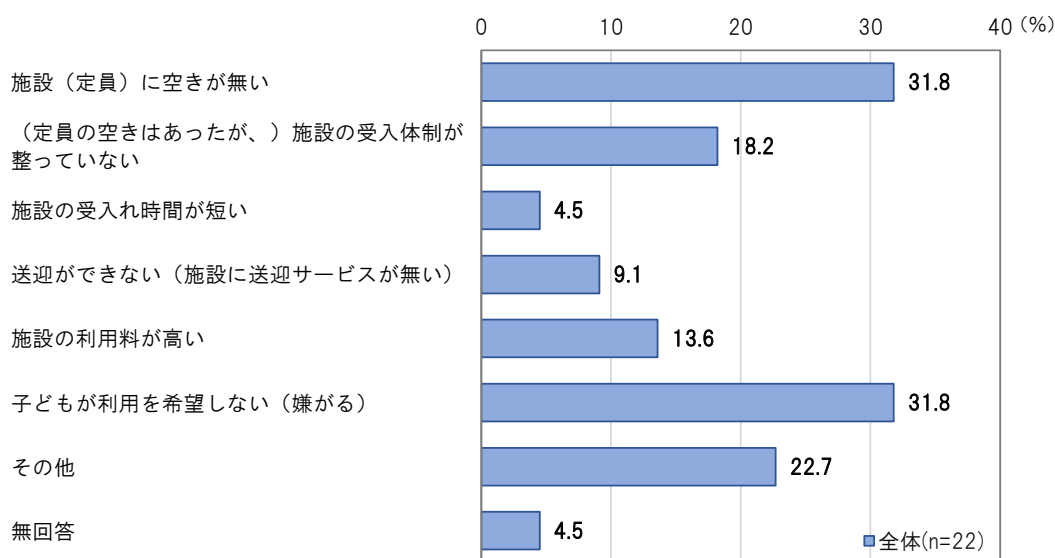
⑥ その他認可外保育施設

- ・その他認可外保育施設を利用できていない8人の理由は、そのうち3人が「施設（定員）に空きが無い」と「（定員の空きはあったが、）施設の受入体制が整っていない」との回答となっている。



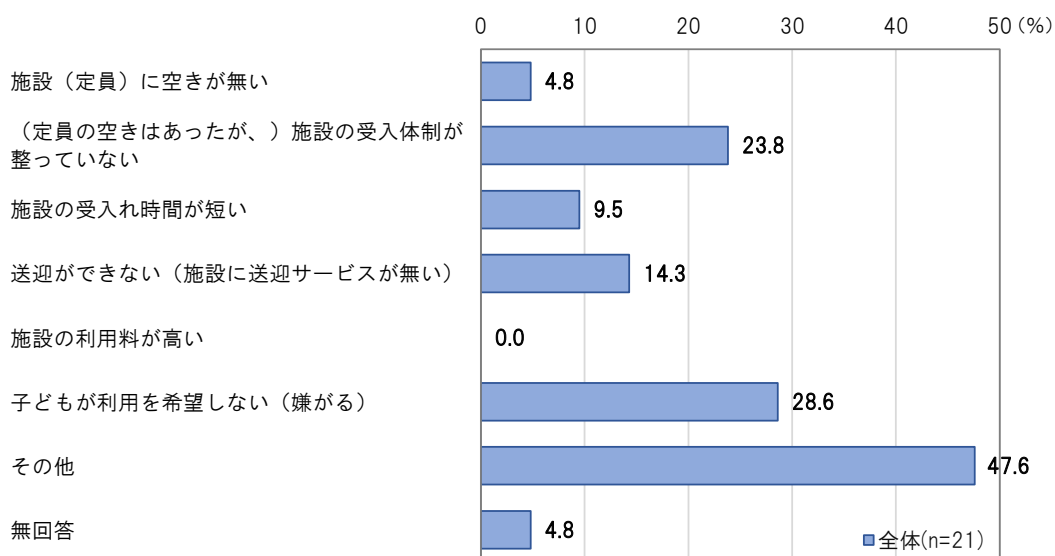
⑦ 児童ホーム

・児童ホームを利用できていない理由は、「施設（定員）に空きが無い」と「子どもが利用を希望しない（嫌がる）」がともに3割以上（31.8%）を占めて最も多く、次いで「（定員の空きはあったが、）施設の受入体制が整っていない」（18.2%）、「施設の利用料が高い」（13.6%）の順となっている。



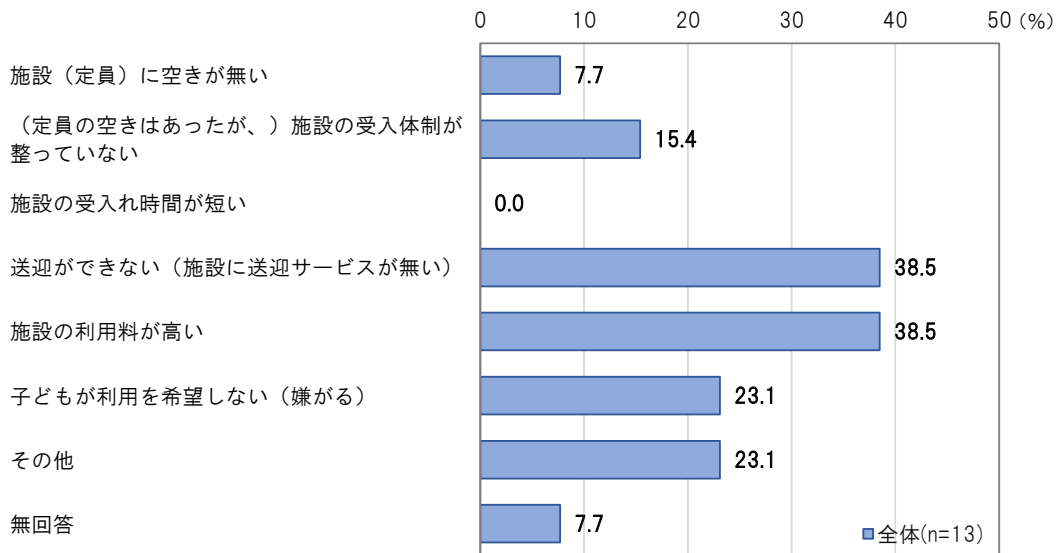
⑧ こどもクラブ

・こどもクラブを利用できていない理由は、「子どもが利用を希望しない（嫌がる）」が3割近く（28.6%）を占めて最も多く、次いで「（定員の空きはあったが、）施設の受入体制が整っていない」（23.8%）、「送迎ができない（施設に送迎サービスが無い）」（14.3%）の順となっている。



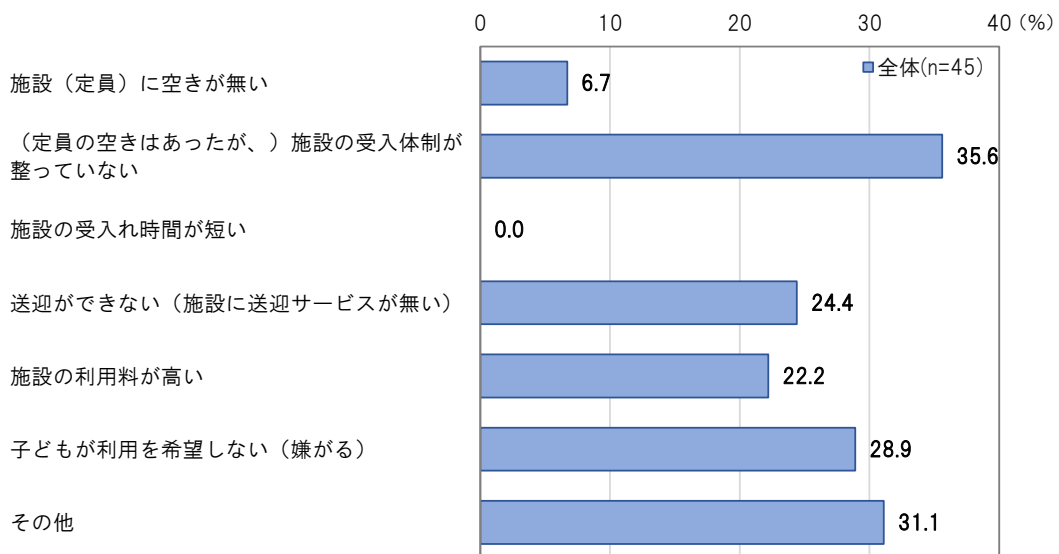
⑨ フリースクール（不登校支援事業を含む）

・フリースクール（不登校支援事業を含む）を利用できていない理由は、「送迎ができない（施設に送迎サービスが無い）」と「施設の利用料が高い」がともに4割近く（38.5%）を占めて最も多く、次いで「子どもが利用を希望しない（嫌がる）」（23.1%）、「（定員の空きはあったが、）施設の入体制が整っていない」（15.4%）の順となっている。



⑩ その他（学習塾や習い事など）

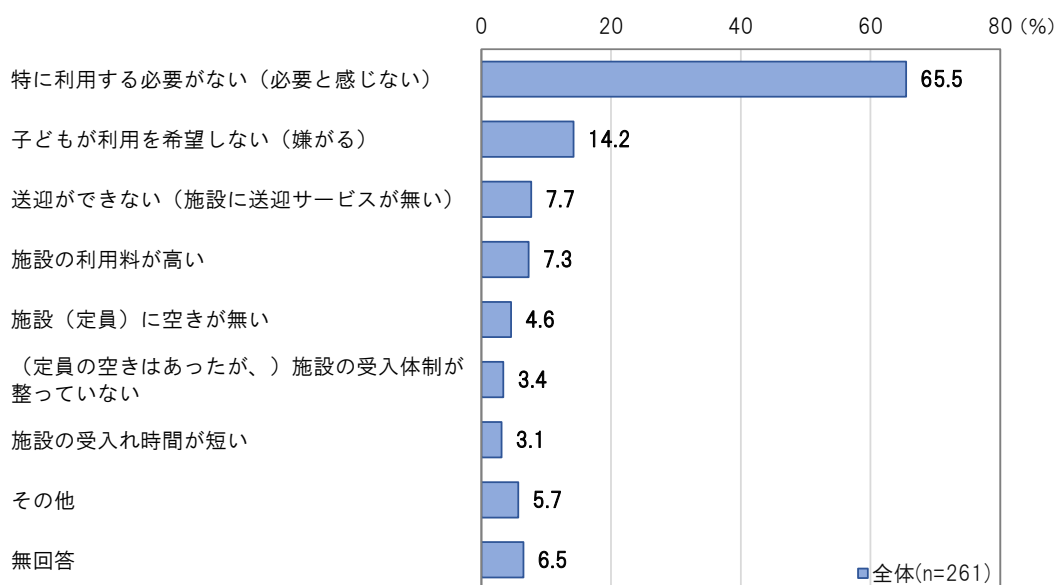
・その他（学習塾や習い事など）を利用できていない理由は、「（定員の空きはあったが、）施設の入体制が整っていない」がともに3割以上（35.6%）を占めて最も多く、次いで「子どもが利用を希望しない（嫌がる）」（28.9%）、「送迎ができない（施設に送迎サービスが無い）」（24.4%）、「施設の利用料が高い」（22.2%）の順となっている。



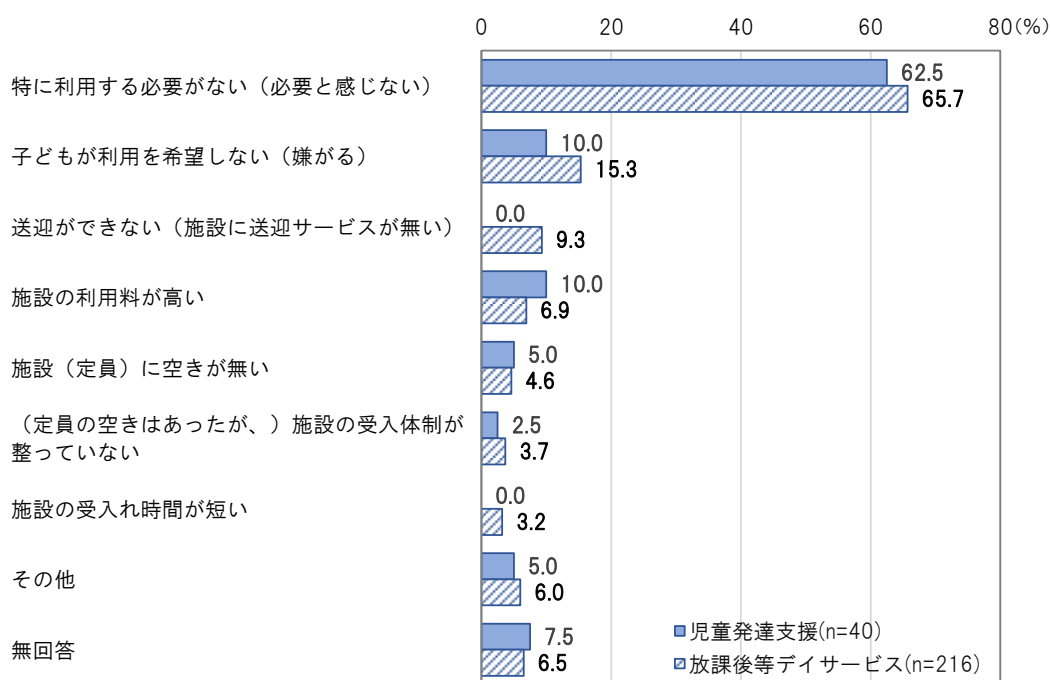
(5) 障害児通所支援事業所以外の通所施設等を利用していない理由

※(1)で「利用していない」かつ(3)で「ない」と回答した方のみ

- 障害児通所支援事業所以外の通所施設等を利用していない理由は、「特に利用する必要がない（必要と感じない）」が6割以上（65.5%）を占めて最も多くなっている。
- 具体的な理由では、「子どもが利用を希望しない（嫌がる）」が1割以上（14.2%）と多く、次いで「送迎ができない（施設に送迎サービスが無い）」（7.7%）、「施設の利用料が高い」（7.3%）の順となっている。

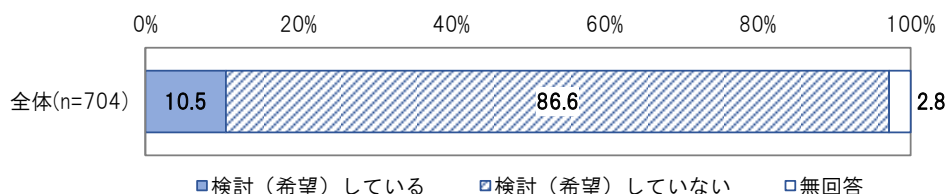


- 事業種別にみると、放課後等デイサービスでは「子どもが利用を希望しない（嫌がる）」や「送迎ができない（施設に送迎サービスが無い）」が児童発達支援に比べて多くなっている。

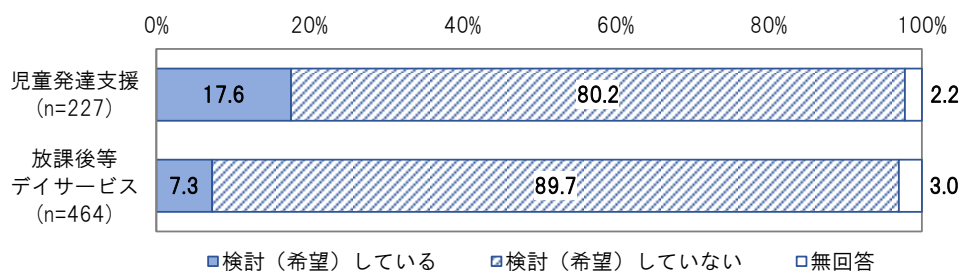


(6) (概ね3年以内で)の障害児通所支援事業所以外の通所施設等への利用変更(移行)の希望

- ・(概ね3年以内で)の障害児通所支援事業所以外の通所施設等への利用変更(移行)の希望は、「検討(希望)していない」が8割以上(86.6%)と大半を占めており、「検討(希望)している」は約1割(10.5%)となっている。



- ・事業種別にみると、児童発達支援では「検討(希望)している」が2割近く(17.6%)を占め、放課後等デイサービスに比べて多くなっている。



(6-1) 障害児通所支援事業所以外の通所施設等への利用変更(移行)を希望する理由

※(6)で「検討(希望)している」と回答した方のみ

- ・障害児通所支援事業所以外の通所施設等への利用変更(移行)を希望する理由では、「子どもの成長・進学に合わせて」が32件と最も多く、次いで、「交流を増やしたいから」が7件、「幼稚園に通うため(併用を含む)」が4件の順となっている。

項目	件数
子どもの成長・進学に合わせて	32
交流を増やしたいから	7
幼稚園に通うため(併用を含む)	4
(保護者が)働きたいから	3
子どもの希望	2
子どもの自立に向けて	2
その他	15

Ⅲ 資料（調査票）

※実際のWEB回答画面とレイアウト等が一部異なります。

障害児通所支援の利用に関するアンケート調査の設問内容

（すべての設問について、令和5年9月1日時点の状況でお答えください）

I お子さまについておたずねします

- お子さまの人数と、そのうち障害児通所支援サービスを利用しているお子さまの人数を教えてください。

子どもの人数（ ）人

うち、障害児通所支援を利用している子どもの人数（ ）人

以降の質問については、障害児通所支援サービスを利用しているお子さまについてお聞きします。

（2人以上の記載がある場合のみ表示）まず1人目のお子さまについてお聞きします。

問1 障害児通所支援サービスを利用しているお子さまについて教えてください。

(1) 年齢

（ ）歳

(2) 持っている手帳及び等級（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------------|---|-----------------------|
| 1 身体障害者手帳 | ⇒ | （ 1級・2級・3級・4級・5級・6級 ） |
| 2 療育手帳 | ⇒ | （ A・B1・B2 ） |
| 3 精神障害者保健福祉手帳 | ⇒ | （ 1級・2級・3級 ） |
| 4 手帳は持っていない | | |

(3) 利用している障害児通所支援サービス（○は1つ）

- | | |
|---|--|
| 1 児童発達支援（就学前の通園（療育）施設での個別や集団での指導・訓練を通じた発達に即した適切な支援） | |
| 2 放課後等デイサービス（就学後の通園（療育）施設での放課後等の生活能力向上のための必要な支援） | |

(4) 利用事業所数

（ ）事業所

(5) 利用頻度 ※ 複数事業所を利用している場合はすべて合わせた回答としてください。

週（ ）日程度

II サービスの利用状況等についておたずねします

問2 障害児通所支援サービスの利用にあたって、主に相談した窓口（機関）とその満足度を教えてください。（①～⑧について、それぞれ○は1つずつ）

※相談していない窓口については「利用していない」を選択してください。

	満足している	どちらでもない	不満がある	利用していない
① 母子保健に関する窓口（乳幼児健診や保健所の専門相談など）	1	2	3	4
② 障害福祉に関する窓口（障害者支援課など）	1	2	3	4
③ こどもの育ち支援センター（いくしあ）	1	2	3	4
④ 児童発達支援センター （たじかの園、あこや学園、かしのき園など）	1	2	3	4
⑤ 民間の相談支援事業所（障害児相談支援事業所など）	1	2	3	4
⑥ 発達障害者支援センター（芦屋ランチなど）	1	2	3	4
⑦ 医療機関（小児科医など）	1	2	3	4
⑧ その他（ ）	1	2	3	4

【問2で「不満がある」と回答した人のみ】

問2-1 不満がある主な理由は何ですか。窓口（機関）の番号とその理由を教えてください。

窓口(機関)番号	不満のある理由
	(例：対応が遅かった、具体的な提案がなかった、たらい回しにされた など)

【全員におたずねします】

問3 障害児通所支援サービスを利用している主な理由は何ですか。あてはまるものから上位3つまでお答えください。（○は3つまで）

1 子どもへの適切な発達支援
2 子どもの居場所づくり
3 子どもの地域交流、余暇の充実
4 保護者の就労
5 保護者の休息（レスパイト）
6 保護者の交流・居場所など
7 その他（具体的に： ）

問4 現在利用している障害児通所支援事業所を選んだ主な理由は何ですか。あてはまるものから上位3つまでお答えください。(○は3つまで)

※ 複数事業所を利用している場合はすべて合わせた回答としてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 療育（支援）プログラムが充実しているから |
| 2 専門的な支援員（療法士など）がいるから |
| 3 年間行事や催し（イベント）などが充実しているから |
| 4 事業所や支援員の雰囲気が良いから |
| 5 子どもが気に入ったから |
| 6 きょうだいが利用しているから |
| 7 送迎サービス（園や学校へのお迎え、自宅までの送り届け）があるから |
| 8 預かり時間が長いから |
| 9 家から近いから |
| 10 相談員や知り合いなどから勧められたから |
| 11 利用できる（空きのある）事業所が他に無かったから |
| 12 その他（具体的に： _____） |

問5 現在利用している障害児通所支援事業所の利用日数（頻度）についてお伺いします。(○は1つ)

※ 複数の事業所を利用している場合はすべて合わせた回答としてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 今後、現在の利用日数（頻度）を増やしていきたい ⇒ 問5-1へ |
| 2 現在の利用日数（頻度）が良い ⇒ 問6へ |
| 3 今後、現在の利用日数（頻度）を減らしていきたい ⇒ 問5-1へ |

【問5で「1」または「3」と回答した人のみ】

問5-1 希望する利用日数（頻度）はどのくらいですか。

※ 複数の事業所を利用している場合はすべて合わせた回答としてください。

週（ _____ ）日程度

【全員におたずねします】

問6 現在利用している障害児通所支援事業所で過ごす時間は、送迎の時間を除いて概ねどのくらいですか。平日・休日それぞれについてお答えください。(○は1つずつ)

※ 複数の事業所を利用している場合は利用頻度の高い方で回答してください。

平日	1 1時間	2 1時間30分	3 2時間
	4 2時間30分	5 3時間	6 3時間を超える
	7 利用していない		
休日	1 1時間	2 1時間30分	3 2時間
	4 2時間30分	5 3時間	6 3時間を超える
	7 利用していない		

問7 現在利用している障害児通所支援事業所の主な支援内容はどのようなものですか。平日・休日それぞれについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数の事業所を利用している場合はすべて合わせた回答としてください。

平日	1 学習支援 4 体育活動 6 自由遊び 8 その他(具体的に: 9 よくわからない	2 創作活動 5 設定遊び(スタッフの指示などにあわせて行う遊び) 7 専門的訓練(言語療法や理学療法など)	3 音楽活動
休日	1 学習支援 4 体育活動 6 自由遊び 8 その他(具体的に: 9 よくわからない	2 創作活動 5 設定遊び(スタッフの指示などにあわせて行う遊び) 7 専門的訓練(言語療法や理学療法など)	3 音楽活動

問8 現在利用している障害児通所支援事業所の支援内容に満足していますか。(○は1つ)

※ 複数の事業所を利用している場合は利用頻度の高い方で回答してください。

1 (どちらかという) 満足している
2 どちらともいえない
3 (どちらかという) 不満がある ⇒ 問8-1へ

【問8で「3(どちらかという) 不満がある」と回答した人のみ】

問8-1 不満がある主な理由は何ですか。

※ 複数の事業所を利用している場合は利用頻度の高い方で回答してください。

(例:療育(支援)内容が子どもに合っていない、日々の状況を詳しく教えてくれない、他の利用者とは合わない、受け入れ時間が短い など)

【全員におたずねします】

問9 現在利用している事業所だけに限らず、今後、尼崎市で障害児通所支援サービスを利用するにあたって、何か求める（期待する）ことはありますか。あてはまるものから上位3つまでお答えください。（〇は3つまで）

- 1 事業所の情報（支援内容や特色、空き状況など）をもっと教えてほしい
- 2 事業所間の連携や交流をもっと進めてほしい
- 3 学校園との連携をもっと深めてほしい
- 4 子ども同士がもっと交流できる機会を増やしてほしい
- 5 保護者同士がもっと交流できる機会を増やしてほしい
- 6 もっとサービスが利用できるように事業所の数を増やしてほしい
- 7 様々な療育（支援）が受けられるように特色のある事業所が増えてほしい
- 8 サービスの質が向上するように事業所に指導や助言をしてほしい
- 9 その他（具体的に： _____）
- 10 特になし

Ⅲ 障害児通所支援以外の通所施設等の利用についておたずねします

問10 現在、障害児通所支援事業所以外に下記の通所施設等を利用していますか。
（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 幼稚園（預かり保育を含む） | 2 保育所・園（小規模保育事業所を含む） |
| 3 認定こども園 | 4 事業所内保育施設 |
| 5 居宅訪問型保育（ベビーシッター） | 6 その他認可外保育施設 |
| 7 児童ホーム | 8 こどもクラブ |
| 9 フリースクール（不登校支援事業を含む） | 10 その他（学習塾や習い事など） |
| 11 いずれも利用していない ⇒ 問11へ | |

【問10で「1」～「10」のいずれかを回答した人のみ】

問10-1 障害児通所支援事業所とそれ以外の通所施設等の両方を利用している主な理由を教えてください。あてはまるものから上位3つまでお答えください。（〇は3つまで）

- 1 子どもの居場所を増やしたい
- 2 子どもの地域交流、余暇を充実させたい
- 3 （問10で回答した）通所施設等への移行に向けた併行通園など
- 4 （問10で回答した）通所施設等の受け入れ日数だけでは足りない
- 5 障害児通所支援事業所の受け入れ日数だけでは足りない
- 6 その他（具体的に： _____）

【全員におたずねします】

問 11 下記の通所施設等のうち、実際に利用しようとしたが、利用できていないものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 幼稚園（預かり保育を含む） | 2 保育所・園（小規模保育事業所を含む） |
| 3 認定子ども園 | 4 事業所内保育施設 |
| 5 居宅訪問型保育（ベビーシッター） | 6 その他認可外保育施設 |
| 7 児童ホーム | 8 こどもクラブ |
| 9 フリースクール（不登校支援事業を含む） | 10 その他（学習塾や習い事など） |
| 11 ない | |

【問 11 の「1」～「10」のいずれかを回答した人のみ】

問 11-1 「（1～10の選択された通所施設等）」を利用できていない主な理由は何ですか。あてはまるものから上位3つまでお答えください。(○は3つまで)

※問 11 で選択された通所施設別に繰り返し

- | |
|-------------------------------|
| 1 施設（定員）に空きが無い |
| 2 （定員の空きはあったが、）施設の受入体制が整っていない |
| 3 施設の受入れ時間が短い |
| 4 送迎ができない（施設に送迎サービスが無い） |
| 5 施設の利用料が高い |
| 6 子どもが利用を希望しない（嫌がる） |
| 7 その他（具体的に：) |

【問 10 で「11 いずれも利用していない」かつ問 11 で「11 ない」と回答した人のみ】

問 11-1 障害児通所支援事業以外の通所施設等を利用していない主な理由は何ですか。あてはまるものから上位3つまでお答えください。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------|
| 1 施設（定員）に空きが無い |
| 2 （定員の空きはあったが、）施設の受入体制が整っていない |
| 3 施設の受入れ時間が短い |
| 4 送迎ができない（施設に送迎サービスが無い） |
| 5 施設の利用料が高い |
| 6 子どもが利用を希望しない（嫌がる） |
| 7 特に利用する必要がない（必要と感じない） |
| 8 その他（具体的に：) |

【全員におたずねします】

問 12 今後（概ね3年以内で）、障害児通所支援事業以外の通所施設等への利用変更（移行）を検討（希望）されていますか。（○は1つ）

- | |
|-------------------------|
| 1 検討（希望）している ⇒ 問 12-1 へ |
| 2 検討（希望）していない ⇒ 問 13 へ |

【問 12 で「1 検討（希望）している」と回答した人のみ】

問 12-1 利用変更（移行）を検討（希望）している主な理由は何ですか。

（例：子どもが成長して（発達が促されて）きたから、同じ地域の子どもたちとの交流を増やしたいから、子どもが希望するから など）
--

（障害児通所支援サービスを利用しているお子さまが「2人」の記載がある場合のみ表示）

2人目のお子さまについてお聞きします。

問1～問12-1 までを繰り返し

（障害児通所支援サービスを利用しているお子さまが「3人」の記載がある場合のみ表示）

3人目のお子さまについてお聞きします。

問1～問12-1 までを繰り返し

（障害児通所支援サービスを利用しているお子さまが「4人」の記載がある場合のみ表示）

4人目のお子さまについてお聞きします。

問1～問12-1 までを繰り返し

（障害児通所支援サービスを利用しているお子さまが「5人」の記載がある場合のみ表示）

5人目のお子さまについてお聞きします。

問1～問12-1 までを繰り返し

IV さいごに、保護者の方の就労状況等についておたずねします

問 13 お子さまのお父さまとお母さまについて、就労状況を教えてください。(それぞれ○は1つずつ)

父親	母親
1 フルタイムで働いている	1 フルタイムで働いている
2 パート・アルバイトなどで働いている	2 パート・アルバイトなどで働いている
3 働いているが、今は休んでいる (育休・介護休業中など)	3 働いているが、今は休んでいる (産休・育休・介護休業中など)
4 働いていない	4 働いていない
5 いない(未婚・離別・死別など)	5 いない(未婚・離別・死別など)

【問 13 でそれぞれ「1」または「2」と回答した人のみ】

問 13-1 就労頻度を教えてください。

父親	母親
だいたい週()日 1日に()時間勤務している	だいたい週()日 1日に()時間勤務している

【全員におたずねします】

問 14 世帯の収入(同居者合計)は以下のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 200万円未満	2 200万円以上400万円未満
3 400万円以上600万円未満	4 600万円以上800万円未満
5 800万円以上1,000万円未満	6 1,000万円以上
7 わからない・答えたくない	

問 15 子育てに関して悩んでいること、または気になることはありますか。

アンケートは以上です。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

障害児通所支援の利用に関するアンケート調査結果報告書

【発行】 尼崎市役所 障害福祉政策担当

〒660-8501 尼崎市東七松町 1 丁目 23 番 1 号

TEL : 06-6489-6577

FAX : 06-6489-6351